

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1243	▽「日本海運の再生めざし荒天航海」「海技力いかになく発揮して展望ひらきたい」と精鋭船員たち▽海の昔ばなし「大海蛇」▽「船員さんの働きがなければ日本は立ち行きません」俵孝太郎氏ら▽「日本海運の再生へ向けて」海務担当▽「平成元年日本海運再生へスタート」最大課題は日本籍船への混乗導入 対応迫られる海運労使▽海の昔ばなし「折半当直」▽「前途にかすかな光が…」主力海運会社社長の年頭所感から▽全日本船舶職員協会「大型模型帆船	 243 1989(S64)010
▶ 海上の友 1244	▽「船員の昭和史」昭和から平成へ、いま歴史の転換点に立ち、激動の60余年をふり返る▽海の昔ばなし「水葬の礼」▽「昨年より採用倍増」外航船社の新卒船員採用状況▽練習帆船・新海王丸 建造工事、順調に進む▽舷灯「一航士	 244 1989(H01)010
▶ 海上の友 1245	▽「日本人船員と乗るのはハッピー」パナマ籍コンテナ船「アリゲーター・プライド」取材▽海の昔ばなし「観測船チャレンジャー」▽「実年大学院生が」誕生」大阪湾水先人の佐藤さん▽日本郵船の大型クルーザー「船名は「クリスタ	 245 1989(H01)020
▶ 海上の友 1246	▽「『混乗反対』の甘え許されぬ」君島敏男・川崎汽船専務にインタビュー▽海の昔ばなし「海坊主」▽元新和海運船長・梅村伸雄さんが『源義経 一の谷合戦の謎』を出版▽昭和海運の「おせあにつくぐれいす」4月から日本周遊へ	 246 1989(H01)020
▶ 海上の友 1247	▽「『混乗反対』の甘え許されぬ」君島敏男・川崎汽船専務にインタビュー▽海の昔ばなし「海坊主」▽元新和海運船長・梅村伸雄さんが『源義経 一の谷合戦の謎』を出版▽昭和海運の「おせあにつくぐれいす」4月から日本周遊へ	 247 1989(H01)020
▶ 海上の友 1248	▽「『混乗反対』の甘え許されぬ」君島敏男・川崎汽船専務にインタビュー▽海の昔ばなし「海坊主」▽元新和海運船長・梅村伸雄さんが『源義経 一の谷合戦の謎』を出版▽昭和海運の「おせあにつくぐれいす」4月から日本周遊へ	 248 1989(H01)030
▶ 海上の友 1249	▽「これからの船員に求められる“海技”とは何か」海運構造変革のなかで考える▽海の昔ばなし「バーカンティーン」▽海員組合「構造変革下の協約改定交渉」▽鳥羽船員保険保養所「マリンパークとば」が新たにオープン▽舷灯「旅	 249 1989(H01)130
▶ 海上の友 1250	▽「商船教育に混迷許されぬ」谷初蔵・日本海技協会会長にきく▽海の昔ばなし「英国船の好意」▽「外航労使、厳しい交渉へ」▽舷灯「久しぶりの神戸」▽練習帆船・新海王丸が進水▽船員の新たな挑戦 陸転「本四橋保守管理の仕	 250 1989(H01)030
▶ 海上の友 1251	▽「ケミカルタンカーの安全対策は万全か」リビア籍のケミカル・タンカー「マースグサール」の海難事故▽海の昔ばなし「海上信仰と人身御供」▽「オリンピック目指して」元川崎汽船二機士・竹井さんがスカイダイビングに挑戦▽横浜博	 251 1989(H01)040
▶ 海上の友 1252	▽「アリゲーター・プライド」同乗ルポ「混乗にトライする現場をみた」▽海の昔ばなし「シンク・ポーツ」▽青函連絡船「桧山丸」から生まれ変わった「少年の船」に乗り組む退職外航船員たち▽「山新とジャパン 新社名はナビックスライン」▽	 252 1989(H01)040

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1253	▽「三光汽船 再スタートへ」3年がかりで更生計画案をまとめた壺井さんにインタビュー▽海の昔ばなし「中国の巨船」▽東京湾横断道路「通航船へ“安全情報”提供」▽’89ミスマル・レイナに坂本知子さん▽舷灯「花開く客船時代」▽	 253 1989(H01)04:
▶ 海上の友 1254	▽「緊雇対で8,700余人が海を去る」労使が二年間にわたり血を流した海上労働市場稀有の試練を総括する▽海の昔ばなし「コロンブスの船団」▽日本海事広報協会が「客船による船旅の楽しみに関する調査結果」を発表▽「ふじ丸」と	 254 1989(H01)05:
▶ 海上の友 1255	▽日本海運振興会の調査「船員供給国フィリピンの実情」▽海の昔ばなし「ジャック・タール」▽英国船長の航海記『セイル・ホー！ー若き日の帆船生活』を翻訳出版▽「東京湾に“グルメ船”」客船「シンフォニー」▽舷灯「新入社員」▽海	 255 1989(H01)05:
▶ 海上の友 1256	▽「日本籍船への混乗導入をめぐる」海造審の報告書をうけて協議すすめる外航労使トップにきく▽海の昔ばなし「帆船時代の海流観測」▽「新規船員の採用倍増へ」航機合わせ70名超す▽舷灯「経営環境の変化と対応」	 256 1989(H01)06:
▶ 海上の友 1257	▽「船員不足が深刻化」このままでは船が動かなくなると対策に苦慮する内航海運業界▽海の昔ばなし「ログ流せ」▽「キャプテン森 逝く」海運史そのままの生涯▽舷灯「セルフコントロールと祈り」▽「荷動き増で大幅収支改善」主要海	 257 1989(H01)06:
▶ 海上の友 1258	▽「海運企業の再編進む」ナビックスライン・オリオン SHIPPING・国際マリン・トランスポート・国際エネルギー輸送▽海の昔ばなし「鐘と鏡」▽「経営基盤を強化し配乗効率を適正化」日本郵船と商船三井グループの系列オーナーが合併、	 258 1989(H01)06:
▶ 海上の友 1259	▽「緊雇対 ほんとに辛かった」相浦さんが船協会長退任の弁▽海の昔ばなし「天帆、月帆」▽「中国クルーズ“座礁”」中止、変更が相次ぐ▽日本鋼管「省エネプロペラ開発」▽舷灯「若者が去っていく」▽第33回船員労働安全衛	 259 1989(H01)07:
▶ 海上の友 1260	▽「全国の帆船ファンが待望」一般青少年参加の短期・遠洋体験航海 10月からスタート▽海の昔ばなし「安全教育」▽大手5社社長にインタビュー「日本海運の再構築進め、日本籍船へも混乗を導入したい」▽舷灯「人事異動」	 260 1989(H01)07:
▶ 海上の友 1261	▽商船大学「伝統の航海、機関学科の名が消える」▽海の昔ばなし「マゼランの悲哀」▽「海や船に理解と関心を」表彰式やパーティー▽舷灯「米国海運助成が教えるもの」▽船員の新たな挑戦 陸転「住宅建築の現場監督になった元	 261 1989(H01)08:
▶ 海上の友 1262	▽「新たなマルシップ方式で混乗導入」海員組合が条件付きで対応へ▽海の昔ばなし「サンドイッチ諸島」▽漁船にも通信衛星ブーム▽なだしお・第一富士丸「衝突に至る経過」▽舷灯「支え合う」▽なだしお・富士丸衝突事件「潜水艦側	 262 1989(H01)08:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1263	▽「学生の“海離れ”に頭かかえる」外航の新船員確保が深刻化▽海の昔ばなし「サンドイッチ」▽どうなるパイオニアシップ▽豪華客船「おりえんとびいなす」を発注▽舷灯「混乗船の反乱」▽第33回船員労働安全衛生月間▽船員の	 263 1989(H01)09
▶ 海上の友 1264	▽「海運界は若者のこころを掴めるか」“船員職業志向離れ”傾向にいかに対応すべきか 識者にきく▽海の昔ばなし「最初の航海学校」▽「豪華客船から湾内クルーズまで」すすむ日本郵船の客船建造プラン▽SECOJ「内航海運(タ	 264 1989(H01)09
▶ 海上の友 1265	▽「船員雇用の安定と海技力の保全をはかる」船員行政の今後のとり組み課題を田辺運輸省船員部長に聞く▽海の昔ばなし「イルカと人間」▽「混乗導入を機関決定」海員組合の汽船部委員会▽内航総連「船員確保対策まとめる」▽	 265 1989(H01)09
▶ 海上の友 1266	▽マルシップ混乗「日本人船員の“やる気”」▽海の昔ばなし「ガスパー焼打ち」▽「新海王丸が竣工」皇太子殿下もご視察▽川崎汽船も客船事業進出▽舷灯「夫と妻の人間関係」▽「“第二世代LNG船”が就航」日本郵船の「の一すうえ	 266 1989(H01)10
▶ 海上の友 1267	▽マルシップ混乗導入「外航労使が政策支援を要請」▽海の昔ばなし「ボストン・ティー・パーティー」▽「ジェット機で広域哨戒」海保庁の「ファルコン900」▽飯野海運の中期雇用計画「200名の雇用守る」▽舷灯「外国人船員との結びつ	 267 1989(H01)10
▶ 海上の友 1268	▽商船大学卒業生を船社が陸上部門でも採用▽海の昔ばなし「シーマンシップ」▽「クルーズ客船の経営戦略」「につぼん丸」起工を機に村上社長にきく▽海員学校後援会『海員学校50年の歩み』を発行▽舷灯「客船ブームは大丈夫	 268 1989(H01)10
▶ 海上の友 1269	▽二、三航機の不足が深刻化▽海の昔ばなし「船主並船頭水主心得え事」▽「船員に好評 ベイブリッジ」横浜港のシンボル▽東海汽船「ヴァンテアン」就航▽舷灯「期待される『太郎君の船』」▽外航労使「ペルシャ湾航行全面再開」	 269 1989(H01)11
▶ 海上の友 1270	▽新マルシップ混乗「日本人船員9名でスタート」外航労使が合意▽海の昔ばなし「船酔いの妙薬」▽「外航船員に高まる英語熱」▽SECOJ「内航適応訓練を実施」▽舷灯「同期生」▽外航二船団船員数「海陸で9,600人」船員の急減傾	 270 1989(H01)11
▶ 海上の友 1271	▽海員組合定期大会「船員労働力保全に苦悩の選択」▽海の昔ばなし「クロノメーター」▽運輸省「部員の職員課へ弾力措置」▽世界初の駐車場船「エフキャップ号」▽舷灯「船員家庭と登校拒否児」▽主要海運会社9月中間決算	 271 1989(H01)12
▶ 海上の友 1272	▽フィリピン人船員の確保に積極策▽海の昔ばなし「ロープの結び方」▽「えっ、これが船社の広告？」商船三井が“軟らか路線”シリーズ▽米国のパナマ籍船入港禁止に備え、リベリアへ移籍進む▽舷灯「バイキングの伝統」▽12月	 272 1989(H01)12

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1273	▽平成元年試練の1年「外航海運のスン路に転換告げる」 ▽海の昔ばなし「シートと帆足綱」▽日本郵船の探検クルーズ客船の船名「フロンティア・スピリット号」に決定 ▽SECOJ「船機長に調理講習」▽舷灯「波乱多き、海運造	 273 1989(H01)12:
▶ 海上の友 1212	▽「88 日本海運はどうなる」識者にきく▽海の昔ばなし「船と海の竜」▽船員の新たな挑戦 陸転「日銀保養所の管理人となった元ジャパンライン司厨長 小坂 寿さん」▽舷灯「タツ年」▽各界から年頭あいさつ▽「文明を離陸させ	 212 1988(S63)01:
▶ 海上の友 1213	▽「船員の能力 陸上でも発揮できるか」海上から陸上へ職業転換をめざす船員たちへアドバイス▽海の昔ばなし「竜の持つ力」▽日本郵船が緊急雇用対策▽近代化委「B実証船が実用化へ」▽舷灯「『船旅時代』がやってきた」▽	 213 1988(S63)01:
▶ 海上の友 1214	▽「一日も早く夫を返して」北朝鮮に長期抑留されている「第18富士山丸」船長の妻が悲痛な訴え▽海の昔ばなし「華厳縁起」▽豪華客船に大きな期待▽ジャパンライン「第二次緊雇対で再建へ」▽舷灯「海運広報に望む」▽女性の	 214 1988(S63)02:
▶ 海上の友 1215	▽「日本船への混乗をめぐる」新船籍制度による船員の国籍要件の緩和▽海の昔ばなし「中国船の凧(たこ)占い」▽「世界一に輝く日本丸一世」ギネスブックに記録▽海員組合の63年度協約改正原案「実質賃金の維持を」▽舷灯	 215 1988(S63)02:
▶ 海上の友 1216	▽「便宜置船に1万人の船員乗せよ」海員組合が請願署名活動▽海の昔ばなし「礼砲」▽青函連絡船「風雪80年の歴史閉じる」▽元商船三井甲板長の孫の上橋美佐ちゃん「米で肝臓移植に成功」▽舷灯「離家庭性の真の寂しさ」▽ロイ	 216 1988(S63)02:
▶ 海上の友 1217	▽「昭和海運が定航部門から撤退」“苦悩の決断”を下した石井大二郎社長にインタビュー▽海の昔ばなし「帆船の保存食」▽「船員の妻たちの苦悩ありあり」海員組合が「船員世帯の暮らしと意識」調査▽舷灯「撤退」▽第五次船員災	 217 1988(S63)03:
▶ 海上の友 1218	▽「“新合理化計画”が難航」金融支援の三月末期限切れ目前に三社労使がどたん場の協議▽海の昔ばなし「帆船と壊血病」▽海運危機下「外航交渉がスタート」▽「東京・晴海に「マリコット」を建設」全日本海員福祉センター▽舷灯	 218 1988(S63)03:
▶ 海上の友 1219	▽「学生改革すすめる商船大学」内海学長にインタビュー▽海の昔ばなし「セーラー服」▽外航労使、苦悩の交渉▽舷灯「ペルシャ湾なお遠く」▽日本造船振興財団「超電導実証船「ヤマトⅠ」、建造へ」▽船員の新たな挑戦 陸転「ビル	 219 1988(S63)03:
▶ 海上の友 1220	▽「竹下総理にペルシャ湾から訴える」雇用不安のなかで危険に耐えて働く船員に国民の理解と支持求めたい▽海の昔ばなし「スペインのガレオン」▽「未組織日本船員の悲劇」ペルシャ湾被弾事件・自主規制の対象外▽大阪商船三	 220 1988(S63)04:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1221	▽「高度な技術で世界に挑む」パイオニアシップの本格実験に入る乗組員に訪船インタビュー▽海の昔ばなし「太平洋のガレオン」▽特別低温コンテナ輸送「生鮮野菜輸入の主演に」郵船、商船三井が取り組み▽'88ミス マル・レイナ	221 1988(S63)04
▶ 海上の友 1222	▽「揺らぐ外航海運」緊急雇用対策は起死回生策となりうるか▽海の昔ばなし「遭難船サンフランシスコ」▽「海の男たちへ“応援歌”」土井・朝日記者が乗船記「負けじ魂これぞ船乗り」を出版▽外航協約改定交渉「分離交渉はなお論議	222 1988(S63)04
▶ 海上の友 1223	▽「海を去る30代船員たち」海運の将来性や船員職業に疑問を抱き自らオカへ転職▽海の昔ばなし「ガレオンとガリオン」▽「外航交渉 労使協力を重視」ベア0.69%で妥結▽海造審WG「混乗導入論議、核心へ」▽舷灯「海洋レジャー時	223 1988(S63)05
▶ 海上の友 1224	▽「総理が感謝のメッセージ」ペルシャ湾就航船員 危険な環境下での職務遂行にたいし運輸大臣が海の記念日に特別表彰▽海の昔ばなし「チェスポローの遭難」▽新和海運「リゾート船事業に進出」▽元ジャパンライン船長・南義光	224 1988(S63)05
▶ 海上の友 1225	▽「欧州諸国がこぞって“海運優遇”措置」船主の船員費負担を軽くするため国が税制面でテコ入れ▽海の昔ばなし「ログ(船速測定器)」▽「苦悩深めるJライン」緊急合理化提案めぐり紛糾▽戦没殉職船員追悼式「遺族ら450人列席	225 1988(S63)06
▶ 海上の友 1226	▽「景気上向きの内航海運」三木友輔・内航総連会長にきく▽海の昔ばなし「ログ(航海日誌)」▽「処女航海は日本周遊」昭和海運の「おせあにつくぐれいす」▽Jラインの緊急合理化問題「“指名解雇しない”労使 船地労委調停を受	226 1988(S63)06
▶ 海上の友 1227	▽「外航海運は救われたい」石原運輸相が「内閣全体の問題としてとらえたい」と国会で答弁▽海の昔ばなし「ガム(鯨の小群)」▽船員制度近代化委員会「C実験以降の仮設像示す」▽川崎汽船「“タッチ・ダウン”開始 小口貨物を迅	227 1988(S63)06
▶ 海上の友 1228	▽日本船長協会の「混乗船に関する調査研究」で浮き彫り「混乗船の苦労や問題点」▽海の昔ばなし「マストが沈む」▽オカのニュービジネスで活躍する元通信長たち▽戦没船員遺族会が協力「“海”の戦争展」▽舷灯「海洋レジャーと	228 1988(S63)07
▶ 海上の友 1229	▽「明治丸に若者たちの息吹き」日本海運激動の百年余をみつめてきたこの最古の鉄船はいま▽海の昔ばなし「海のロマン」▽「超党派で新海運政策提案したい」海事振興連盟の小坂善太郎会長▽舷灯「『国民の祝日』にするには」▽	229 1988(S63)07
▶ 海上の友 1230	▽竹下総理がペルシャ湾就航船員と家族を招き感謝のメッセージ▽海の昔ばなし「最後のケーブ・ホーナー」▽「海や船に理解と関心を」全国で海の旬間行事 名古屋では海の祭典▽舷灯「転職御礼」▽海運白書「進む日本籍船の海外	230 1988(S63)08

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1231	▽「外航海運に勇気と希望を与えたい」佐藤文生・自民党海運造船対策特別委員会委員長にきく▽海の昔ばなし「太平洋初見の西洋人」▽「ペルシャ湾に平和が甦る」イ・イ戦争待ちに待った停戦▽イ・イ戦争停戦で海運労使が談話▽	 231 1988(S63)08:
▶ 海上の友 1232	▽「日本籍船への混乗導入」船主協会が海造審作業部会で説明▽海の昔ばなし「太平洋の命名者」▽「安全対策は継続」イ・イ戦争停戦後のペルシャ湾▽「海難ゼロめざし」全国海難防止強調運動▽舷灯「人間関係」▽第32回船員	 232 1988(S63)09:
▶ 海上の友 1233	▽「混乗船の航跡」日本人船員の混乗への挑戦、仕組船、マルシップから日本籍船へ導入の動きも▽海の昔ばなし「大航海時代の香辛料」▽離職外航船員「内航へ再就職も」▽笹川平和財団「太平洋島嶼国会議開く」▽舷灯「北海	 233 1988(S63)09:
▶ 海上の友 1234	▽「全世界的な海上遭難安全システムの導入へ」1992年から300総トン以上の新造船に適用▽海の昔ばなし「姫川波浪」▽「クルーズ時代の幕開け」大型客船「ふじ丸」が進水▽山下新日本汽船と海員組合「職域転換を合意」▽舷灯「ハ	 234 1988(S63)09:
▶ 海上の友 1235	▽「混乗で外航海運の再生はかる」「外航船員は今年度中に一万人の規模に減る」の現状見通し踏まえ船協が強調▽海の昔ばなし「袖の三つボタン」▽「第三次近代化計画 “D実験”スタートへ」13人定員めざす▽「新しい海の博	 235 1988(S63)10:
▶ 海上の友 1236	▽パイオニアシップ「さざんくろす」11名運航に挑戦▽海の昔ばなし「練習船の歌」▽日本郵船のクルーズ第一船、昭和65年6月竣工へ▽海洋汚染防除システムに関する東京セミナー▽舷灯「父親不在について」▽海員組合の第44年	 236 1988(S63)10:
▶ 海上の友 1237	▽「外航船員1万人規模を維持する」土井・全日本海員組合組合長にきく▽海の昔ばなし「蟹気楼」▽日本造船研究協会「ベテラン船長の人工知能をもつ“夢の船”(高信頼度知能化船)を公開」▽海運民営還元前後の経緯をまとめた	 237 1988(S63)10:
▶ 海上の友 1238	▽「後継者育成 船社は新人を採用せよ」日本海技協会・谷初蔵会長にきく▽海の昔ばなし「不知火(しらぬい)」▽「海上就職いぜん低迷」商船大学・商船高専の会場産業への就職者数▽ペルシャ湾の安全対策見直し「カーグ島配船	 238 1988(S63)11:
▶ 海上の友 1239	▽「典奴ペルシャ湾を往く」のフリーライター森下典子さんにインタビュー▽海の昔ばなし「コリントス運河」▽「陸上へ海技ノウハウを展開」商船三井や新和海運 船員の能力を引き出し▽海造審「混乗前提に近代化継続」▽舷灯「鯨救出	 239 1988(S63)11:
▶ 海上の友 1240	▽中西新組合長「日本籍船への外国人船員の導入」組合大会で断固反対決める▽海の昔ばなし「時鐘(タイム・ベル)」▽『SECOJ10年の歩み』をまとめる▽海労研「技術革新に伴う海上生活の変化に対する船員の適応に関する研	 240 1988(S63)12:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1241	▽日本海技協会がシンポジウム「海運・船員対策を考える—日本人船員をどうする」▽海の昔ばなし「変則時鐘」▽エム・オー・エアシップが飛行船の運航を開始▽船長協会ゼミナール「混乗船におけるトラブル発生の表裏—フィリピン	 241 1988(S63)12
▶ 海上の友 1242	▽構造転換すすんだこの一年「多くの外航船員が海を去る」▽海の昔ばなし「自分宛のクリスマス・カード」▽全日本海員組合新組合長会見「外航一万人の雇用を守る」▽船員制度近代化委員会「第三次総合実験船など選定」▽舷	 242 1988(S63)12
▶ 海上の友 1181	▽海造審中間報告を受けて「日本海運の構造転換元年」船員の雇用調整が本格化▽海の昔ばなし「波の上を跳ぶ白兎」▽練習帆船「日本丸」がボストン・ティーポット・トロフィーを受賞▽日本殉職顕彰会「戦時徴用船の最期」の絵	 181 1987(S62)01
▶ 海上の友 1182	▽新「海王丸」建造の意義▽海の昔ばなし「渦潮と潮流」▽「企業存続への決意」大手六社社長▽「C実験船増で近代化船が208隻に」船員制度近代化委員会▽舷灯「転職」▽運輸省昭和62年度海運・船員関係予算案「離職船員の陸	 182 1987(S62)01
▶ 海上の友 1183	▽商船三井、日本郵船「大型クルーズ客船建造計画を発表」▽海の昔ばなし「黒い海」▽世界一効率的な船をめざし「パイオニアシップ」運航▽共同船主労務協会が解散▽舷灯「船旅ブームまき起こせ」▽「生涯教育制度の臨時措置」	 183 1987(S62)02
▶ 海上の友 1184	▽「海運の未来を信じ日本人船員の誇りと伝統を息子に」三組の船員親子にきく▽海の昔ばなし「船針盤」▽外航船員の雇用調整「本人選択による特別退職制度」を海員組合が提出▽舷灯「日本客船」▽「航海記」募集の中間報告▽	 184 1987(S62)02
▶ 海上の友 1185	▽船員制度近代化「C実験始まる」日本郵船▽海の昔ばなし「おもかじ、とりかじ」▽「海上職域の拡大を図り、教育内容を効率化」海技大学校▽舷灯「海王丸の再建について」▽「世界の海運・造船の動向と展望」海事産業研究所▽元	 185 1987(S62)02
▶ 海上の友 1186	▽船員の陸上転換、いかに開拓すべきか▽海の昔ばなし「日付変更線」▽海上保安庁「女性通信士第一号・柴田真美さん、殉職」▽「船舶職員法の一部改正に伴い、海技免状センター設置」日本海事代理士会▽舷灯「エイズ禍」▽特	 186 1987(S62)03
▶ 海上の友 1187	▽「長期不況と円高ショックを世間はどのようにみているか」有識者にきく▽海の昔ばなし「太平洋」▽緊急雇用対策特別委員会・外航労使「大筋合意」▽海員学校の応募状況「やや減少」▽舷灯「海国日本と修学旅行」▽「陰しい海上再就職」	 187 1987(S62)03
▶ 海上の友 1188	▽「ベア・ゼロの労働協約改定交渉スタート」▽海の昔ばなし「大西洋」▽外航労使・大筋合意の緊急雇用対策について船員にきく▽第二回「日本の海洋画展」盛況▽舷灯「税金問題」▽「62年度技能計画訓練実施計画」船員雇用促進セ	 188 1987(S62)03

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1189	▽歴史学者・木村尚三氏にインタビュー「海洋民族化こそ日本の生きる道」▽海の昔ばなし「最も遠く離れた島」▽商船大学・高校の入学志願者状況と入学者数▽船員保険保養所の宿泊・食事料金を4月から改定▽舷灯「明るい船内	 189 1987(S62)04(
▶ 海上の友 1190	▽外航船員雇用促進協会が離職する外航船員の受け皿機構として発足▽海の昔ばなし「女王の空手形」▽川崎汽船「早川丸」同乗記▽'87ミス マル・レイナに佐藤里佳さん▽舷灯「今こそ研究を」▽海洋産業研究所「昭和60年代の	 190 1987(S62)04(
▶ 海上の友 1191	▽世界一の少数定員での運航「パイオニアシップ実験計画」決定 今秋からスタート▽海の昔ばなし「ユニオン・ジャック」▽「日本海技協会新会長に就任の抱負をきく」前東京商船大学学長・谷初蔵氏▽「昭和62年度の船員災害	 191 1987(S62)04(
▶ 海上の友 1192	▽「異常円高が及ぼす国民生活への影響」経済評論家・田中洋之助氏と商船三井・日高廣調査部長にきく▽海の昔ばなし「クロジャッキー」▽外航協約改定交渉「ベア・ゼロで妥結」▽「全国戦没船員遺族会」新たに発足▽舷灯「正念場	 192 1987(S62)05(
▶ 海上の友 1193	▽「船に残るか陸転するか」重大な決断に日本船員福利雇用促進センターの矢嶋三策理事長がアドバイス▽海の昔ばなし「海と母と」▽春の叙勲で、日本船舶振興会会長・笹川良一氏に勲一等旭日大綬章▽「海技免状の更新を忘れ	 193 1987(S62)05(
▶ 海上の友 1194	▽全日本海員組合の土井一清組合長にインタビュー「船員にのみ犠牲を求める経営危機のり切り姿勢には応じられない」▽海の昔ばなし「海のあやかし」▽春の園遊会で、森勝衛船長 天皇陛下からねぎらいのお言葉▽第17回戦没殉	 194 1987(S62)06(
▶ 海上の友 1195	▽外交労使「各社ごとに系列雇用協議会」をスタート▽海の昔ばなし「海の疫病神」▽「動くホテルから動くシティーへ」ノルウェーのクロスター社25万トンのマンモス豪華客船建造計画に、造船三社も連携して受注へ名乗り▽「パイオ	 195 1987(S62)06(
▶ 海上の友 1196	▽ペルシャ湾で被弾した東京タンカー「秀邦丸」帰港し「安全航行のための外交努力を政府に強く訴える」▽海の昔ばなし「アホウドリ」▽「帆船による青少年教育を」帆船日本丸を訪れた土井たか子委員長▽高性能レーダー情報処理シ	 196 1987(S62)06(
▶ 海上の友 1197	▽「青少年の教育の場としての「新・海王丸」に期待」各界にきく▽海の昔ばなし「海底の女神」▽「船員雇用対策に全力で」運輸省船員部長・野尻豊氏に抱負をきく▽海の記念日期し「海の男たちはいまー商船船員航海記」を出版▽舷灯	 197 1987(S62)07(
▶ 海上の友 1198	▽「船員への道を閉ざされ複雑な心境」商船大学生の訴え▽海の昔ばなし「金毘羅樽」▽作曲家・船村徹氏、LPG船で航海初体験「外航船の歌作りたい」▽「海の旬間」全国の行事を紹介▽「パイオニアシップ実験計画」候補7隻が決ま	 198 1987(S62)07(

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1199	▽第47回海の記念日・海事功労者表彰式・祝賀パーティー ▽海の昔ばなし「銭王の潮神退治」▽「海や船に関心と理解を」全国で海の旬間イベント▽舷灯「船員教育変革への模索」▽新たな船員雇用対策が必要「外航海運の現況」運	 199 1987(S62)08
▶ 海上の友 1200	▽軍事緊張が高まるペルシャ湾「海上輸送に従事する船員の視点で」▽海の昔ばなし「風の売買」▽「難病に苦しむ美佐ちゃんを救おう！」大阪商船三井船舶・凌洋会 募金の呼びかけ▽「臨手交渉が決着 よいよ緊急雇用対策へ▽	 200 1987(S62)08
▶ 海上の友 1201	▽注目される新置籍制度「オフショア船籍」▽海の昔ばなし「最大最後の木造外車船」▽外航船員雇用促進協会が本格的に活動開始▽帆船日本丸メモリアルパークにて「海洋児童画展」全日本海員福祉センター▽舷灯「変化に応じた	 201 1987(S62)09
▶ 海上の友 1202	▽「安保論を見直し、先進海運をめざせ」日本海技協会 谷初蔵会長にきく▽海の昔ばなし「国引き伝説」▽「コンビニでも頑張る」飯野海運の船員たち▽「外航船の政策実験を求める決起集会」海員組合▽舷灯「企業は人なり」▽「緊急	 202 1987(S62)09
▶ 海上の友 1203	▽相浦紀一郎・日本船主協会会長にインタビュー「船員と家族へ協力を要請」▽海の昔ばなし「杓島の船幽霊」▽「ペルシャ湾で被弾」日正汽船のタンカー「日信丸」▽舷灯「海の記念日行事に思う」▽「動き出した“洋上クルージング”時	 203 1987(S62)09
▶ 海上の友 1204	▽イ・イ戦争の見通しと日本のとるべき道について 評論家・村松剛氏が重大提言▽海の昔ばなし「徳島の船幽霊」▽「帆船精神を企業活動に生かせ！」医療機器販売会社・シンセイ商事が「海王丸」で社員教育▽緊急雇用対策合意	 204 1987(S62)10
▶ 海上の友 1205	▽全国の商船高専「航海・機関両学科を商船学科に統合」昭和63年度から▽海の昔ばなし「偽物だったドレークの銘板」▽昭和海運「小型で豪華な客船建造を発表」▽笹川医学奨学金制度により、中国の医学研修医が来日▽舷灯	 205 1987(S62)10
▶ 海上の友 1206	▽ロレンス・ヴァン・デル・ポスト卿「船長のオディッセー」出版と森勝衛船長の長寿を祝う会▽海の昔ばなし「ボンク」▽ペルシャ湾安全航行確保の貢献策決まる▽舷灯「もの言う船員に」▽海員組合の63年度活動方針案▽船員の新たな	 206 1987(S62)10
▶ 海上の友 1207	▽「世界のトップを行く パイオニアシップヘスタンバイ」第一中央汽船「筑波丸」を訪ねて▽海の昔ばなし「ハンモック」▽外航船員雇用促進協会「登録船員500名に」▽元海上保安官・野間寅美氏「生きるための海」を上梓▽舷灯「株	 207 1987(S62)11
▶ 海上の友 1208	▽「自国籍船のフラッグング・アウト歯止め策を欧州三カ国のオフショア船籍制度調査団にきく▽海の昔ばなし「砲丸を使った深海測深」▽海上技術を新事業へ」郵船ナブテック設立▽駒宮真七郎さん「戦時輸送船団史」を上梓▽舷灯	 208 1987(S62)11

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1209	▽「船員の専属雇用体制を守る」海員組合大会決定を踏まえて、土井一清組合長にインタビュー▽海の昔ばなし「時鐘と砂時計」▽商船大・高専の求人・就職状況▽「混乗船での意思疎通図り、韓国語研修」SECOJ▽舷灯「機関誌紙	 209 1987(S62)120
▶ 海上の友 1210	▽海員組合大会論議を各社労務担当者はどう受け止めたか▽海の昔ばなし「ドッグ・ワッチ(折半当直)」▽「緊急雇用対策で合意」大阪商船三井船舶・第一中央汽船▽「ウェザー・ルーティングのセミナー」開催▽舷灯「海運経営の国	 210 1987(S62)120
▶ 海上の友 1211	▽外航海運の経営危機が深刻化したこの一年▽海の昔ばなし「キャプテン・クックとクリスマス」▽船員出身者の多い指宿で「再就職セミナー」SECOJ▽舷灯「世話女房考」▽「海事衛星で船上と本社のパソコン通信が可能に」大阪商	 211 1987(S62)120
▶ 海上の友 1150	▽「ことしもチャレンジ」前年に活躍した「阪神タイガース監督・吉田義男氏」「女性初北極点にチャレンジした女優・和泉雅子さん」「宇宙飛行士・毛利衛氏」にきく▽海の昔ばなし「宝船」▽ことしの海運市況について日本郵船調査室・植	 150 1986(S61)010
▶ 海上の友 1151	▽外航各社トップの年頭挨拶▽海の昔ばなし「海の虎」▽元大阪商船社長「岡田俊雄氏をしのんで」追想録から足跡をたどる▽「再建へ」三光汽船▽舷灯「海陸一体となって」▽昭和61年度の海事関係予算案骨子▽近代化船は航く	 151 1986(S61)010
▶ 海上の友 1152	▽「海運危機いかに打開すべきか」国民経済全体の観点から三氏に見解をきく▽海の昔ばなし「虎の名を持つ魚たち」▽船での氷温輸送実用化へあと一步」大手船社が実用実験▽船舶職員法施行令の改正「16名体制を制度化」▽	 152 1986(S61)020
▶ 海上の友 1153	▽増える選択定年制度の退職者に識者がアドバイス▽海の昔ばなし「北海のムチとホウキ」▽カナダに「マンゾー・ナガノ山」船員体験を生かし成功した日系移民・永野萬蔵▽三光汽船「公正手続き開始決定」▽舷灯「旅客船利用の修	 153 1986(S61)020
▶ 海上の友 1154	▽「深刻な円高ショック」海運界への影響を日本開発銀行・塩田星司営業第二部長にきく▽海の昔ばなし「海の戦車」▽昭和海運「生涯教育制度スタート」▽「海況図の内容を充実」気象庁▽舷灯「事故の教訓」▽「ジャパンラインの再建	 154 1986(S61)020
▶ 海上の友 1155	▽「21世紀の船員像と商船教育」をきく▽海の昔ばなし「大西洋を漕ぎ渡る」▽「女性経済学者としての提言に期待」海運造船合理化審議会に初の女性委員・田付茉莉子さん▽「海の救急車」洋上救急センターが初出動▽舷灯「生涯教	 155 1986(S61)030
▶ 海上の友 1156	▽外航海運の危機下 労使交渉がスタート▽海の昔ばなし「短艇と端艇」▽「B段階の実証実験開始」61年度以降の近代化計画▽海員組合「ジャパンラインの退職者募集で仮処分申請」▽舷灯「希望をもって」▽「船員の労働と生活に関	 156 1986(S61)030

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1157	▽「近代化の意義について」改めて官労使に見解をきく▽海 の昔ばなし「イナサ参ろう」▽元川崎汽船機関長の小田 治さん「地名を掘る－鉢山・鉢物からの考察」を出版▽船員 保険情報センター「健康管理を充実」▽舷灯「いじめと船員	 157 1986(S61)03:
▶ 海上の友 1158	▽「近代化B実験船に同乗取材」朝日新聞・土井全二郎編 集委員▽海の昔ばなし「フライング・ダッチマン」▽「定年退 職後に夫婦での山行きを題材に」元日本郵船操機長の妻・ 吉川竹世さんが個展▽「チルド機能つき冷蔵庫、船にも」提	 158 1986(S61)04:
▶ 海上の友 1159	▽船員制度近代化実験 いよいよC実験へ▽海の昔ばなし 「船長バンダーディッケン」▽新しい港のシンボル「千葉港 のポートタワー」「神戸港の海洋博物館」▽外航協約改定 交渉「自主解決へ向けて交渉継続」▽舷灯「近代化の根本	 159 1986(S61)04:
▶ 海上の友 1160	▽「海に親しまれた天皇陛下のご足跡を辿る」ご在位60年 に寄せて▽海の昔ばなし「玉石の浜」▽「新学制の海員学 校がスタート」新入生に抱負をきく▽新造希望のほとんどは 超省力船▽舷灯「船員がいなくなる」▽「61年度技能訓練	 160 1986(S61)04:
▶ 海上の友 1161	▽61年度の労働協約改定交渉「史上最低水準で妥結」▽ 海の昔ばなし「津波を呼ぶ人魚」▽商船三井客船の弓場通 義船長一家「オールスター家族対抗歌合戦」に出演▽'86ミ ス マル・レイナ 中村あずささんに決まる▽舷灯「春闘妥	 161 1986(S61)05:
▶ 海上の友 1162	▽「日本海運の危機」経済学者にきく▽海の昔ばなし「大渦 巻」▽横浜に係留の「帆船日本丸」1年で入場者45万人▽ 共同船主労務会、近海労務協会「協約改定交渉妥結」▽舷 灯「円高と摩擦」▽外航大手船社「陸上支援体制の現状」	 162 1986(S61)05:
▶ 海上の友 1163	▽「自助努力もはや限界」海造審海運対策部会小委員会 での船員問題に関する論議のあらまし▽海の昔ばなし「船 名の丸と号」▽各社親睦団体のOB対策▽「第16回戦没殉 職船員追悼式」▽舷灯「“海と天皇”の記事に思う」▽近代	 163 1986(S61)06:
▶ 海上の友 1164	▽7月からC実験船14隻、B実証船39隻がスタート▽海 の昔ばなし「帆走するクラゲ」▽「スポーツで国際親善」第18回 国際船員スポーツ大会が横浜港・大黒埠頭で開催▽債務 保証で余剰船舶の解体促進▽気象庁「台風の進路予想図	 164 1986(S61)06:
▶ 海上の友 1165	▽「海陸資格の互換性を求める声」海陸資格対比一覧表 ▽海の昔ばなし「風の呼び名」▽海陸一致して諸経費の節 減対策を強化▽船員中央労働委員会職業安定部会「労使 双方から意見聴取」▽舷灯「絵はがきの活用」▽「C実験以	 165 1986(S61)06:
▶ 海上の友 1166	▽「日本海運と船員守れ」現場の船員が訴える▽海 の昔ばなし「風力階級」▽木下恵介監督「新・喜びも悲しみも幾歳 月」光から電波の灯台へ▽舷灯「海運の貢献」知らせる努 力を▽日本船舶機関士協会の近代化船設備調査で補機	 166 1986(S61)07:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1167	▽大阪商船三井船舶・北米コンテナ船「東京丸」同乗取材 ▽海の昔ばなし「海坂」▽近代化A実証船「東京丸」乗組員 全員にきく▽「海の記念日」にあたり官労使代表からご挨拶 ▽「大量廉価輸送から少量高速輸送へ発想大転換のとき」	 167 1986(S61)07:
▶ 海上の友 1168	▽「海の記念日」のマスコミ報道をみる▽海の昔ばなし「風 見鶏」▽「外航海運の危機を突破し、船員の職場を守る総 決起中央集会」海員組合と全国海友婦人会▽舷灯「船員と 選挙」▽海事功労者に運輸大臣表彰▽運輸省・外航海運	 168 1986(S61)08:
▶ 海上の友 1169	▽「船員雇用の緊急対策」運輸省海上技術安全局・増田信 雄船員部長にきく▽海の昔ばなし「ルーチン・ベル」▽海員 組合「海なお深くー太平洋戦争・船員の体験手記」発行▽ 「海技大学校における教育のあり方について」海上安全船	 169 1986(S61)08:
▶ 海上の友 1170	▽海運造船合理化審議会海運対策部会小委員会「余剰船 員問題についての労使の考え方」出揃う▽海の昔ばなし 「巨人伝説」▽陸転船員に近況をきく▽舷灯「みんなで知恵 を出そう」▽「第30回船員労働安全衛生月間」実施事項の	 170 1986(S61)09:
▶ 海上の友 1171	▽外航労使「余剰船員対策の緊急協議を開始」▽海の昔 ばなし「海に橋を架け損ねた始皇帝」▽「ジャパンライン、J Lシッピングに移籍」今後の取組み方針を宗雪高明常務取 締役にきく▽運輸省運輸政策局「異常海難防止システムの	 171 1986(S61)09:
▶ 海上の友 1172	▽「外航労使はいかにして海運再生の道を切り開くべきか」 識者に見解を求める▽海の昔ばなし「クラバウターマン」▽ 海洋写真家・中村庸夫氏「クイーン・エリザベス2の旅ー夢 の大西洋横断クルーズ」を出版▽B実証船を追加募集▽	 172 1986(S61)09:
▶ 海上の友 1173	▽運輸省、関係省庁との話し合いで、船員の陸転対策固ま る▽海の昔ばなし「死馬祭“デッド・ホース”」▽春日八郎 「船長一男の潮騒」を歌う▽運輸省海上技術安全局「大型 船用機関の動向」を発表▽舷灯「船員戦争体験記」▽大手	 173 1986(S61)10:
▶ 海上の友 1174	▽宮岡公夫日本船主協会会長にインタビュー「船員に厳し さ求めたい」▽海の昔ばなし「貿易風」▽職業訓練校「年齢 制限を撤廃し、雇用船員お大幅受け入れ」▽日本船の3割 が近代化船▽舷灯「なにをなすべきか…」▽「職場の安全	 174 1986(S61)10:
▶ 海上の友 1175	▽「全日本海員組合定期大会」を前に、土井一清組合長に インタビュー▽海の昔ばなし「足を見せろ」▽青函連絡船 「70万航海を達成」▽横浜港内で「海中転落者揚収装置」 のデモンストレーション▽舷灯「減らない労働災害」▽日本	 175 1986(S61)10:
▶ 海上の友 1176	▽外交船員に船員雇用問題に関する緊急アンケート調査 結果報告「雇用不安浮き彫りに」▽海の昔ばなし「黒潮」▽ 「靖国神社“遊就館”に海上輸送船団の絵を奉納」▽舷灯「フ レンド・オブ・マイン」▽「航海のつれづれに」元太洋海運船	 176 1986(S61)11:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1177	▽「外航船員の雇用アンケート調査結果」を受けて船社労務担当者の匿名座談会▽海の昔ばなし「香辛料欲しさの大航海」▽海上就職さらに厳しく▽舷灯「フェリーの代替期に思う」▽「B実証船59隻を追加選定」船員制度近代化委	 177 1986(S61)11:
▶ 海上の友 1178	▽全日本海員組合「定期全国大会」開催▽海の昔ばなし「最大の海難」▽森繁久弥氏らに交通文化賞▽海難審判庁「海難審判の現況」を発表▽舷灯「雇用と生存」▽「売上高30%落ち込む」海運会社中間決算▽「休暇を生かす」新	 178 1986(S61)12:
▶ 海上の友 1179	▽近藤鉄雄経済企画庁長官「円高海運対策について所信表明」▽海の昔ばなし「メデューズのイカダ」▽新「海王丸」の建造 リース方式に▽来年、神戸で「海の祭典」▽舷灯「雇用に知恵を」▽波乱の船員戦後史「全日本海員組合40年	 179 1986(S61)12:
▶ 海上の友 1180	▽「外航船員の緊急雇用調整」海員組合と協議の福田民也外航労務協会会長にきく▽海の昔ばなし「クリスマスにちなんだ地名」▽山下新日本汽船「東米丸」を訪ねて▽舷灯「狂騒の年を送る」▽「休暇を生かす」山下新日本汽船船	 180 1986(S61)12:
▶ 海上の友 1119	▽「近代化ステップ・アップ」B実験船「箱根丸」16名定員へスタート▽海の昔ばなし「牛に乗った海神ポセイドン」▽外航近代帆船第一号「ウスキ・パイオニア号」処女航海▽「カルカッタ日本船員ハウス」閉鎖▽各界から年頭挨拶▽海務	 119 1985(S60)01:
▶ 海上の友 1120	▽「10年後の海運・船舶・船員を予測」三人の権威にきく▽海の昔ばなし「牛にちなんだ帆船用語」▽「KYT(危険予知訓練)で船内活性化」昭和海運▽「コストだけが競争力ではない」前海造審海運対策部会長・地田知平教授▽舷灯「も	 120 1985(S60)01:
▶ 海上の友 1121	▽「ニューメディア時代への期待と注文」をきく▽海の昔ばなし「セント・エルモの火」▽親切で迅速な「海の相談室」海上保安庁水路部▽全国5商船高専「女子にも門戸を開く」▽舷灯「なさねばならぬこと」▽「コンピューターが船長にア	 121 1985(S60)02:
▶ 海上の友 1122	▽「船員に求められる国際性」5氏にきく▽海の昔ばなし「船のトン数」▽「間宮海峡の発見に新事実」フランス文化研究者・小林忠雄氏▽秦豊参議院議員「海技協会講演会」▽舷灯「船員教育と練習船」▽「海上交通路の安全をどう	 122 1987(S62)02:
▶ 海上の友 1123	▽韓国、フィリピンの船員事情▽海の昔ばなし「19世紀の巨船」▽「ポケコンで天測計算」元三光汽船・松本安弘船長が考案▽「海難救助に威力発揮のUS1(救難飛行機)」海上自衛隊▽舷灯「戦後40年」▽海運労使の協約改定交渉	 123 1985(S60)02:
▶ 海上の友 1124	▽「ペルシャ湾の公海上で日本人操機長がイ・イ戦争初の犠牲に」3人の識者にきく▽海の昔ばなし「巨船の幽霊」▽「アル・マナク号事件と日本人船員」▽舷灯「O・A化社会」▽「航法システムシンポジウムー航法システムの現状と将	 124 1985(S60)03:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1125	▽「実力ある日本人船員が閉め出されている状況を打破」日本船員福利雇用促進センター・矢嶋三策理事長の提言 ▽海の昔ばなし「1000カイリの無人航海」▽63年度労働協約改定交渉がスタート▽全日本海員福祉センター「海員総	 125 1985(S60)03
▶ 海上の友 1126	▽「若者は海離れしたか」商船大学・水産大学の入学志願状況が示すもの▽海の昔ばなし「遭難信号SOS」▽船員制度近代化B実験船16名定員スタート▽日本丸保存の募金、全国に呼びかけ▽舷灯「海難原因の徹底的究明を」▽	 126 1985(S60)03
▶ 海上の友 1127	▽「ひろげよう国際交易の輪」ワールド・インポート・フェア・ナゴヤ'85▽海の昔ばなし「史上最初のSOS」▽「現行の海上交通安全法の不備を指摘」横須賀水先人・中島好直氏▽SAR条約に加入を決定▽舷灯「情報化時代に思う」▽	 127 1985(S60)04
▶ 海上の友 1128	▽「日本に学べ」アメリカが日本の船員制度近代化を評価 ▽海の昔ばなし「陸を走る帆船」▽「海王丸」船上で誕生し「海王」と命名された中国人と名付け親の北川次郎船長が対面▽船員の妻・北条敦子さんが二冊目の詩集「炎炎と真	 128 1985(S60)04
▶ 海上の友 1129	▽「エアロビクス・トレーニングで船員の健康・体づくり」海上労研の神田寛主任研究員が研究成果を発表▽海の昔ばなし「アフリカ大陸を横断した船」▽外航労使交渉「定昇込み5.2%で妥結▽商船高専「全国で43名の女子入学者」	 129 1985(S60)04
▶ 海上の友 1130	▽「中核6社の60年度以降の短・中期雇用計画」をみる▽海の昔ばなし「船団、山を越える」▽元山下新日本汽船通信長・中村勝利さんが日本列島縦断の徒歩旅行▽元大阪商船船長・森勝衛氏が剣道の最高位「範士」の商号を授与	 130 1985(S60)05
▶ 海上の友 1131	▽「16名定員での第一回の実験航海を終えた「りっちもんどぶりっじ」を訪船▽海の昔ばなし「タイムボール」▽「初代日本丸、海事思想普及の場としての船出」小中学生に操帆訓練▽「制度や定員見直しを」総務庁が海員学校を行政監察	 131 1985(S60)05
▶ 海上の友 1132	▽「漂流漁船員の生還に学べ」第71日東丸漂流17日▽海の昔ばなし「登しよう礼」▽関東運輸局東京海運支局の船員労務官の仕事に同行取材▽「海に強い船乗りが空へ」海難救助への期待▽舷灯「客船研究会の復活」▽期待通り	 132 1985(S60)06
▶ 海上の友 1133	▽経済企画庁発表「2000年に向けて激動する労働市場」は船員社会にもあてはまるか▽海の昔ばなし「鉄から金へ、金から鉄へ」▽「船員家族と船を結ぶ新しいサービス」国際電子郵便▽船員法一部改正「女子船員の深夜当直OK」	 133 1985(S60)06
▶ 海上の友 1134	▽「海造審答申の意義」谷川久海運対策部会長にきく▽海の昔ばなし「スクーターの起源」▽「第二の人生は郵便局長」元新和海運船長・石居弘さん▽「市況の低迷を反映」中核6社の3月期決算▽舷灯「船員家族」▽ノルウェーの自動	 134 1985(S60)06

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1135	▽海員学校が「職業高校」「専修学校」へ▽海の昔ばなし「クリッパー」▽「ペトラゲン1」の爆発事故を日本人乗組員にきく▽日本船長協会「国際船長協会連盟へ加盟」▽舷灯「日本海運百年」▽日本船員福利雇用促進センター「昭和	 135 1985(S60)07
▶ 海上の友 1136	▽各界で活躍中の方々にきく「日本海運と船員への期待と注文」▽海の昔ばなし「ティー・クリッパーの大レース」▽「近代化船156隻に」着実に進展▽「第45回海の記念日・旬間」全国で多彩な行事▽海の記念日に寄せて各界からごあい	 136 1985(S60)07
▶ 海上の友 1137	▽海事産業の発展に貢献した「運輸大臣表彰」受賞者の喜びの声▽海の昔ばなし「皇室ヨット明治丸」▽日本武道館、新橋、銀座でも「海の記念日」を国民にアピール▽舷灯「港の安全一歩前進を」▽運輸大臣表彰受賞者▽第22回全国	 137 1985(S60)08
▶ 海上の友 1138	▽さようなら「日石丸」▽海の昔ばなし「ランチとカッター」▽海底に眠る教え子たちに鎮魂の祈りこめ、元東京商船大学学長・浅井栄資氏「慟哭の海」を出版▽海底土質調査船「K AIKO-101」東京で公開▽舷灯「オレンジ色の船」▽論議を	 138 1985(S60)08
▶ 海上の友 1139	▽深刻なタンカー不況▽海の昔ばなし「洋中で水を取る法」▽再建願う三光汽船の船員と家族▽「操船は無理せず、見張りは油断せず」全国海難防止強調運動▽舷灯「船員と山歩き」▽「外国人船員にも利用を呼びかけ」シンガポールの	 139 1985(S60)09
▶ 海上の友 1140	▽「新さくら丸での洋上ゼミ」参加の中学校社会科担当の先生にきく▽海の昔ばなし「海底の探検」▽ユニバーシアード神戸大会開会式に神戸商船大生が参加▽「戦病没慰霊碑を建立」宮古海員学校同窓会▽舷灯「引き継ぎ」▽「エン	 140 1985(S60)09
▶ 海上の友 1141	▽練習帆船・日本丸「国際的ブーム」▽海の昔ばなし「クリッパーの最高速力」▽ユニバーシアード神戸大会「女子マラソン優勝者深尾真美選手は故深尾純一日魯漁業船長のお嬢さん」▽「船員の町口之津町と西海町で無料講習会」	 141 1985(S60)09
▶ 海上の友 1142	▽日本海運のパイオニア「日本郵船創立100周年」▽海の昔ばなし「速力の単位ノット」▽海王丸に清楚な天女の船首像「紺青」▽山下新日本汽船が慰霊法要▽「母を思う心」を歌う女僧歌手・宮陽子さん▽舷灯「“人材”とは」▽「SAR条	 142 1985(S60)10
▶ 海上の友 1143	▽大阪商船三井船舶のB実験船「あめりか丸」の仕事ぶりを取材▽海の昔ばなし「ブルーリボン」▽「練習帆船大成丸史」OBたちがまとめる▽西ドイツで発明・神戸製鋼所が製作「燃費を一割節減できるクリム・ベーン・ホイール」▽舷灯	 143 1985(S60)10
▶ 海上の友 1144	▽「経営スリム化で危機脱出へ」大手5社の中期経営計画▽海の昔ばなし「北大西洋ブルーリボン」▽商船大学・商船高専の進路「海上就職より陸上へ」▽「洋上救急体制」整備される▽舷灯「“平和の海”運動を」▽「三光グループ船員	 144 1985(S60)10

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1145	▽「洋上でハレー彗星をみよう」星と航海のかかわり▽海の昔ばなし「五色のテープ」▽海員組合第46回定期全国大会を前に、現場船員の期待をきく▽「免状制度の緩和を」全日本自由船主会・壺井玄剛会長にきく▽舷灯「人生80年時代	 145 1985(S60)110
▶ 海上の友 1146	▽「示せ！ 伝統ある産別の力、守れ雇用、乗り切ろう混迷の時代」全日本海員組合第46回定期全国大会 土井一清組合長に一問一答▽海の昔ばなし「スエズ運河」▽船員制度近代化委員会「仮設的船員像にもとづく総合実験評価」	 146 1985(S60)110
▶ 海上の友 1147	▽近代化委の手を離れて18名定員で走り出す近代化実用船▽海の昔ばなし「カティ・サークは短い寝間着」▽船乗り出身の作詞家・星野哲郎さんが交通文化賞受賞▽「北米定航の減収ひびく」大手6社中間決算▽舷灯「倒産と船員」	 147 1985(S60)120
▶ 海上の友 1148	▽戦没船員の慰霊と海の平和を願って「慟哭の海」著者・浅井栄資氏を囲む会▽海の昔ばなし「帆船とウイスキー」▽国鉄連絡船・今井泉船長が「島模様」で船員の淡い恋愛描く▽船員災害防止協会が映画「漂流から生還へ」を完成	 148 1985(S60)120
▶ 海上の友 1149	▽戦後最大の危機かかえ越年「海運・船員界のこの1年を振り返る」▽海の昔ばなし「海上のクリスマス」▽「年金客船」構想、国会で議論▽ジャパンラインの願いは「平和な海が欲しい」▽舷灯「若年船員の頼もしさ」▽海員組合中央執	 149 1985(S60)120
▶ 海上の友 1088	▽各界識者から感謝と激励をこめて「海への年賀状」各界識者から▽ことしの海運界の展望▽舷灯「未来に生きる」▽各界から年頭挨拶▽主要各社海務担当役員年頭メッセージ▽新春座談会「船員職業を魅力あるものにするため	 088 1984(S59)010
▶ 海上の友 1089	▽日本郵船「日本外航海運の現状1983年」から▽海の昔ばなし「悪魔を払う船の鐘」▽新東日本フェリー船長の遺稿集「波と調べと」長男が自費出版▽南方海域へ洋上慰霊船▽舷灯「船員と読書」▽歴史上由緒ある港湾施設を保存・	 089 1984(S59)100
▶ 海上の友 1090	▽運輸省「マルシップに乗り組む日本人船員はオーナー派遣方式が望ましい」▽海の昔ばなし「船の鼠と猫」▽「船員の男女雇用平等法」やる気と現実のカベ▽舷灯「海運界にも夢多し」▽世界船腹量が減少「ロイド統計による1983年	 090 1984(S59)020
▶ 海上の友 1091	▽船員制度近代化委員会・谷川久委員長の調査報告「職員の両用化は足踏み」▽海の昔ばなし「海を渡ってきた猫」▽衛星放送になっても外航船は期待薄▽模擬船橋を新設「近代化再教育充実へ」▽舷灯「高い波、見つけた」▽北米	 091 1984(S59)020
▶ 海上の友 1092	▽海運変革期のなか、商船大生の訴え▽海の昔ばなし「船の鼠返し」▽大阪商船三井船舶 創業100年を記念し「新さくら丸」で在日外国留学生と日本人大学生の交歓クルージングを計画▽運輸省港湾局「新防波堤実用化へ」▽舷灯	 092 1984(S59)020

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1093	▽台湾海運躍進の秘密「エバーグリーン社の新鋭をルポ」 ▽海の昔ばなし「通過儀礼の守護神」▽皇太子ご夫妻を迎え「新日本丸進水式」▽舷灯「船員と社会保障」▽「自動船舶衝突予防援助装置」19月から大型船に設置義務▽娘へ	 093 1984(S59)03
▶ 海上の友 1094	▽「今後の日本人船員のあり方について」海運造船合理化審議会・加藤喜教氏▽海の昔ばなし「船の綱引き」▽昭和59年度外航協約改定交渉スタート「労使代表の所信表明」▽「ベア3.99%要求」組合▽舷灯「趣味は広く浅く」▽新日	 094 1984(S59)03
▶ 海上の友 1095	▽VANによる情報ネットワーク時代「海運は総合物流産業へ」▽海の昔ばなし「横車で押した船」▽「企業の存続か生活防衛か」共同、近海、内航協約改定交渉▽舷灯「期待される米国景気の持続」▽海員学校・高専・大学とも志願者	 095 1984(S59)03
▶ 海上の友 1096	▽「日本人船員はその優秀性で世界に勝負を挑もう」外航海運政策の見直しを前に日本郵船・三原荘衛専務取締役にきく▽海の昔ばなし「船の寿命」▽日正汽船の鉱油船「瑞鵬丸」がミンダナオ島沖で半没のフィリピン木材運搬船を救	 096 1984(S59)04
▶ 海上の友 1097	▽近代化スピードアップ「A実証船実験経てB段階総合実験へ」▽海の昔ばなし「ドレークの太鼓」▽「はじめての女性灯台職員」海上保安学校卒の中野早苗さん▽「船員の健康チェック」船員災害防止協会▽「成人病の巡回検診」船	 097 1984(S59)04
▶ 海上の友 1098	▽海造審の審議、8月答申をめざしスタート「今後の検討事項」▽海の昔ばなし「サメの尻尾」▽好評だった商船三井創業100周年「新さくら丸」招待クルーズ▽米国新海事法への対応を日本郵船営業第一部・稲田徹副部長にきく▽舷灯	 098 1984(S59)04
▶ 海上の友 1099	▽海造審への労使が意見「外航海運のビジョンづくり本格論議へ」▽海の昔ばなし「船霊(ふなだま)」▽海事国際協力センター・野村理事長に聞く「フィリピン船員の再教育へ」▽「新日本丸」に夢託し「船首像募金・四万人こえる」▽舷	 099 1984(S59)05
▶ 海上の友 1100	▽「船員の将来像を示せ」海造審審議に会場第一線の意見▽海の昔ばなし「マーク・トウェイン」▽海上安全船員教育審議会・小山部会長にきく「海員学校の学制改革へ」▽「船員教育に功績」日本海技協会会長・伊藤邦彦さん逝く	 100 1984(S59)05
▶ 海上の友 1101	▽「新鋭船相次ぎ竣工へ」39次船の建造状況をみる「コンテナ船、自動車専用船、鉱炭船、鉱石船、石炭船、LPG船…合計19隻」▽海の昔ばなし「届きませーん」▽海事衛星電話「閑散時に限り、料金値下げへ」▽第4回殉職船員追悼	 101 1984(S59)06
▶ 海上の友 1102	▽「海上現場の体験を生かしたアイデアで勝負」ますます盛んな社内提案制度▽海の昔ばなし「サンタ・マリアの測程手」▽「私はこうして職員になった」外航船部員から上級免状を取得した船員にきく▽舷灯「行革と海運」▽新発足	 102 1984(S59)06

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1103	▽イギリスの海洋作家のアラン・リチャーズさんが日本船で来日「日本の海洋小説出版と体験航海記の取材に」▽海の昔ばなし「甲板掃除」▽「ご苦労さま『日本丸』」9月には新旧交代へ▽中核6社3月期決算「配当3社に止まる」▽舷灯▽米窪太刀雄著『海のロマンス』刊行から70年目「この“海運青春期”に学べ」▽海の昔ばなし「兵員便所」▽青山・日本海技協会新会長にきく「近代化と活性化を推進」▽外航にも帆装商船「中村汽船が用船」▽舷灯「船員と住宅」▽混	 103 1984(S59)06:
▶ 海上の友 1104	▽海の記念日を前にNYK「白馬丸」がトップを切って実験スタート「B実験が新段階へ」▽海の昔ばなし「海の記念日」▽「海の記念日第1回表彰者は今94歳」元大阪商船グレート・キャプテン 森勝衛さん▽外航二船団・海員組合「外航	 104 1984(S59)07:
▶ 海上の友 1105	▽「国民が海に目を向けた一日」第44回海の記念日ドキュメント▽海の昔ばなし「船にかける橋」▽永年勤続船員に大臣表彰▽運輸省「日本海運の現況」を発表▽舷灯「日本人船員」▽選手大臣表彰受賞者リスト▽娘への手紙 混乗タ	 105 1984(S59)07:
▶ 海上の友 1106	▽日本商船隊の悲劇を再現「戦時徴用船の最期」が40年ぶりに画集に▽海の昔ばなし「船首像の起源」▽雇用センター・海員福祉センター・日本郵船「陸上転換教育始まる」▽船住協の住宅資金転貸融資「船員なら無抽選で」▽舷灯	 106 1984(S59)08:
▶ 海上の友 1107	▽結婚情報誌の「船員特集」が女性読者に大反響▽海の昔ばなし「古代船の船首像」▽船舶用衛星放送受信装置が実用化「船内でもテレビが鮮明に」▽商船高専「陸上学科とり入れへ」▽舷灯「入校40周年に思う」▽中核6社の新	 107 1984(S59)08:
▶ 海上の友 1108	▽「海造審の中間答申を船員はどう受け止めたか」日本船と船員の役割 明確に▽海の昔ばなし「船名と船首像」▽『日本郵船船舶100年史』から「日本海運支えた名船ずらり」▽菊地庄次郎元日本郵船社長逝く▽舷灯「安全衛生月間	 108 1984(S59)09:
▶ 海上の友 1109	▽「QE2で軍隊輸送」フォ紛争に参戦のたった一人の日本人乗組員が希有の体験を初めて発表！▽海の昔ばなし「祈りを捧げる船首像」▽「“海から山へ”大転身」元飯野海運の2航士片岡さん▽海員組合「低質燃料油に関するアン	 109 1984(S59)09:
▶ 海上の友 1110	▽「“单身赴任減税”をめぐる」その成り行きに注目する船員家族たち▽海の昔ばなし「碇と錨」▽海上保安庁の森警備救難艦にきく「SAR条約の発効に対応 海難救助体制を強化へ」▽宮古海員学校同窓会「慰霊碑建立で募金」▽舷	 110 1984(S59)09:
▶ 海上の友 1111	▽谷川久・海造審部会長「近代化の努力なしに日本海運維持できぬ」▽海の昔ばなし「進水式」▽笹川良一会長が進水式で支綱を切断「外航近代帆船第一号 ウスキ・パイオニア号」▽海の図画・写真コンクール「図画・金子さん 写	 111 1984(S59)10:
▶ 海上の友 1112		 112 1984(S59)10:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1113	▽「船員はB型が多い？」ある船長の調査では乗組員のほぼ50%がB型で日本人の平均の倍以上▽海の昔ばなし「マストのトップ」▽日本郵船の甲板手・安達さんが800枚の論文まとめる「岩崎弥太郎に魅かれ」▽全国船員厚生施設協	 113 1984(S59)10:
▶ 海上の友 1114	▽選択定年制度スタート時の傾向をみる「希望者は55歳に集中」▽海の昔ばなし「ラバース・ホール」▽札幌の戦時徴用船の遭難画展「漂流中、サメと闘う父 長女が感動の対面」▽船キチの明治製菓参与の荒木さん「フェリー完乗に	 114 1984(S59)11:
▶ 海上の友 1115	▽中高校が船旅の魅力を見直し「修学旅行にカーフェリー利用ふえる」▽海の昔ばなし「手を挙げて敬礼」▽「志甫キャプテン、アリガトウ」元米国船員が44年ぶりに“命の恩人”の墓参り▽海員組合「ITFに呼応 荷役をボイコット」▽	 115 1984(S59)11:
▶ 海上の友 1116	▽船会社OLのみた船員さん「仕事ができなくて女性にやさしくて」▽海の昔ばなし「口笛と号笛」▽「海上交通管理 国際統一へ」事故防止策と交通管理の方法を藤井電子航法研究所所長にきく▽氷川丸に新展示場「マリンヒストラム」▽	 116 1984(S59)12:
▶ 海上の友 1117	▽「雇用確保に混乗も」今後の活動方針について土井組合長語る▽海の昔ばなし「シーマンとランズマン」▽「オールマイティーの運航士誕生」日本郵船の秋山2通士「通信士のほかに船橋、機関当直資格を取得」▽漁船船員の妻・西尾	 117 1984(S59)12:
▶ 海上の友 1118	▽構造変革にとり組んだこの1年「“日本海運丸”大きく転針」▽海の昔ばなし「船のクリスマス・ツリー」▽瀬戸内海汽船の歴代船長「結核患者に励ましの汽笛」小さな親切運動で表彰▽来年4月から旧日本丸が“第二の人生”「海洋教	 118 1984(S59)12:
▶ 海上の友 1057	▽あすの日本海運を切り開く「LNG船 就航スタンバイ」▽海と船と人と「さまよえるオランダ船」▽“海の若人”の夢はらんで「新日本丸4月から起工へ▽安教審「船員教育訓練のあり方」答申「甲機面用教育の充実を」▽舷灯「年頭に	 057 1983(S58)01:
▶ 海上の友 1058	▽今春から近代化いよいよスタート「実証船30隻でスタート、四月に改正法施行、近代化教育も本格化」▽海と船と人と「エーシメロ」▽第2パナマ運河が開通すると 海面式で滞船解消▽船員災害防止基本計画「死傷15%、疾病10%	 058 1983(S58)01:
▶ 海上の友 1059	▽価値ある少数派「若年船員にスポット」▽海と船と人と「水の面にその名をえがかれしもの」▽気象協会・波浪観測に新兵器「漂流ブイロボットを開発」▽海員組合の実証船労働条件要求、交渉はじまる「船・機長は七万五千元」	 059 1983(S58)02:
▶ 海上の友 1060	▽「春闘、独自交渉へ」新発足の共同船主労務協会 北村源三会長にきく▽海と船と人と「日本列島とマニラ・ガレオン」▽元海軍予備士官の坂元さんが『海軍予備士官一召集された商船士官の役割』を出版▽機械屋さんが新型錨「ス	 060 1983(S58)02:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1061	▽日本船員福利雇用促進センター「日本船にも職域開拓」雇用情勢の悪化に対処▽海と船と人と「漂流者」▽浩宮さま近くヨーロッパ留学へ「中世海運史に深いご関心」▽海洋博物館ラッシュ「横浜、名古屋、神戸で建設へ」▽舷灯「減	061 1983(S58)02: 
▶ 海上の友 1062	▽海上春闘「外航交渉、試練のスタート」▽海と船と人と「遣唐使船の漂流者」▽今春の入学志願状況「“海離れ”やや鈍化」海員学校は三割増▽運輸政策審議会総合安全保障部会「海上輸送の安定対策」▽舷灯「『おしゃべり』のす	062 1983(S58)03: 
▶ 海上の友 1063	▽「苦悩する内航」慢性的な船腹過剰つづくなかえ素材産業不況の直撃うけて荷動き大幅に減り…▽海と船と人と「ビーチコーマー」▽海員組合の意識調査「3分の2が船員職業に不満」▽インマルサット「日本船二百隻が加入」▽舷	063 1983(S58)03: 
▶ 海上の友 1064	▽「実証船スタート」その第一船・品の丸を出港前に訪ねると…「すでに近代化は定着、あとは現場に、まかせて」と乗組員たち▽海と船と人と「アルバトロス」▽Jライン大石取締役三男「憧れの巨人軍で頑張る大石滋昭選手」▽鉱石船	064 1983(S58)03: 
▶ 海上の友 1065	▽日本海技協会の調査から「船員職業生活 何か問題か」▽海と船と人と「マンボウ」▽先進「海運諸国の近代化テンポ」日本より立ち遅れ▽第四次船員災害防止基本計画「死傷4%、疾病3%減少へ」▽舷灯「船員の世帯手当」▽大	065 1983(S58)04: 
▶ 海上の友 1066	▽「外航にも“帆装商船”」日本舶用機器開発協会が白杵鉄鋼と共同開発▽海と船と人と「帆立くらげ」▽LNG共同運輸航会社が発足「バダック、アルンの二社」▽南方海域へ洋上慰霊船「につぼん丸」で11月に実施▽舷灯「船員経歴の	066 1983(S58)04: 
▶ 海上の友 1067	▽「運航士・船舶技師 ニュー船員誕生」改正船員二法と関係政省令いよいよ施行▽海と船と人と「東風と西風」▽舶用機械輸出振興会の調査レポート「伸長著しい中国海運」▽船員保険会健康管理センター「ことしも各地で巡回検診」	067 1983(S58)04: 
▶ 海上の友 1068	▽「近代化 こうして進める」改正二法施行にあたり谷川・船員制度近代化委員会委員長にきく▽海と船と人と「モンズーン」▽新日本丸・海王丸に贈る船首像「女性像がふさわしい」二千点の応募作品から基本方針決まる▽ペルシャ	068 1983(S58)05: 
▶ 海上の友 1069	▽「薄日さず海運市況 “台風の日”東の間の回復」「海運市況の回顧と展望」をまとめた日本郵船調査室にきく▽海と船と人と「観点望気」▽館山海員学校「僕らは“近代化一年生”」▽在ニューヨークの近藤乃耶さん「元船員が銀座で	069 1983(S58)05: 
▶ 海上の友 1070	▽日本船長協会25周年にちなんで「海運の急激な構造変化のなかで “船長”はどう変わったか」▽海と船と人と「風の個性」▽「戦場のメリークリスマス」原作者ヴァン・デル・ポスト氏と森船長との友情▽第3回殉職船員追悼式が開催	070 1983(S58)06: 

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1071	▽海運新時代のパイオニア「近代化船」走り出す▽海と船と人と「水兵強募隊」▽「日本丸人気ますます」日立港では30万人も▽東京湾海上交通センター「東京湾北部に拡大」▽舷灯「帆船『日本丸』と海事広報」▽大阪商船三井船	 071 1983(S58)06
▶ 海上の友 1072	▽当直限定三級海技士の試験問題「『近代化船の当著奥に必要な知識』が出題のポイント」▽海と船と人と「シャンハイ」▽馬場賢太郎・雇用センター理事長体験録「労使の波間で」を出版▽無災害船の表彰制度「安全衛生に効果」▽	 072 1983(S58)06
▶ 海上の友 1073	▽高度情報化社会のなかで考える「船内生活情報」▽海と船と人と「海は魚に」▽「歌を海に返したい」星野哲郎さん、相次いで「海の歌」を発表▽比国船員の外国船配乗「82年は五万五千人」▽舷灯「57年度決算と今後の見通し」▽浮	 073 1983(S58)07
▶ 海上の友 1074	▽第43回海の記念日「あすの日本海運展望」▽海と船と人と「海になりわいするもの」▽沢山汽船の甲山丸「ベトナム難民を救助」▽LNG第一船「尾州丸」いよいよ就航▽舷灯「船乗りよ、開き直れ」▽VLCCは航く「ケープ・タウン到着」	 074 1983(S58)07
▶ 海上の友 1075	▽海運の“日常体験”ない国民の情報ニーズをいかに掘り起こすべきか▽海の昔ばなし「七つの海」▽海を愛する「海洋人の会」が発足▽第43回海の記念日 永年勤続船員に運輸大臣表彰▽舷灯「知的遺産を」▽VLCCは航く「ペル	 075 1983(S58)08
▶ 海上の友 1076	▽「海鳥は友だち」山階鳥類研究所・岡さん「船員さんよ、その“特権”を生かし彼らを観察してみてもは」▽海の昔ばなし「タラッタ、タラッタ」▽帆船日本丸Ⅱ世、海王丸の船首像決まる「“わだつみの慈母”を表現」▽第27回船員労働安全	 076 1983(S58)08
▶ 海上の友 1077	▽第27回船員労働安全衛生月間スタート「ゼロ災害めざし」▽海の昔ばなし「地の涯の海」▽企業トップが参加、日本丸でシンポジウム「“帆船”を明日の企業経営に」▽LNG第一船 尾州丸、処女航海へ▽舷灯「船員と旅行」▽10月2	 077 1983(S58)09
▶ 海上の友 1078	▽作家の提唱「船乗りはオカに向かってモノを書くべき」▽海の昔ばなし「ヘラクレスの柱」▽船員の健康増進願い船員保険会の広報誌「船員ほけん」30周年▽近代化船順調に就航▽舷灯「船員表彰制度の見直し」▽第27回船員労	 078 1983(S58)09
▶ 海上の友 1079	▽船員気質は変わったか「世代間のギャップをのりこえ新しい職業意識を形成するために」▽海の昔ばなし「死の海」▽「船首像に役立てて！」全国の帆船ファンから続々好意のカンパ▽横浜に保存決まった日本丸「係留練習船として	 079 1983(S58)09
▶ 海上の友 1080	▽運輸省海上技術安全局・仲田豊一郎船員局長にインタビュー「運輸省の組織改革と今後の船員行政」▽海の昔ばなし「いろ色の海」▽土井一清組合長が投じた一石「年金客船」の反応▽最新鋭大型測量船「拓洋」が業務開始▽舷灯	 080 1983(S58)10

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1081	▽NHKテレビ「アジア出稼ぎ船員」の反響▽海の昔ばなし「色のない海」▽100年前の海の教育者・近藤真琴が小説に「夜明けの海－近藤真琴の教育と子弟たち」豊田穰氏▽船員災害防止協会の「サバイバル・トレーニング」全国で	 081 1983(S58)10
▶ 海上の友 1082	▽日本人船員の体験レポート「混乗船で何を学んだか」▽海の昔ばなし「灼熱の海」▽シンポジウムを開催「日本船員に生きがいを一職場生活の活性化を探る」▽氷川丸にギャラリ－新設▽舷灯「知能化船と船員雇用」▽海員組合第44	 082 1983(S58)10
▶ 海上の友 1083	▽定年退職を前に心の準備を「“第二の人生”をどうデザインすべきか」▽海の昔ばなし「氷の海」▽「鈴木政輝大帆船・海洋画展」を開催「劇的一瞬を濃密に描く」▽日本殉職船員顕彰会「来年一月から殉職船員の遺児援護事業」▽	 083 1983(S58)11
▶ 海上の友 1084	▽「船員職業の魅了とは何か」6人のOB わたしはこう考える▽海の昔ばなし「人魚の話」▽青函連絡船元通信士の坂本さんが『青函連絡船』を出版▽LNG船、順調に航海「日本船員の優秀さを実証」▽舷灯「出稼ぎ船員」▽船員親睦団	 084 1983(S58)11
▶ 海上の友 1085	▽一流学者が海王丸で初体験航海「帆船に教育の理想をみた」▽海の昔ばなし「海の怪獣」▽最近の船内カメラ熱「カレンダー作る会社も」▽外航系列雇用協議会が減船問題で決着「近代化実証船、47隻に」▽舷灯「海事広報と船	 085 1983(S58)12
▶ 海上の友 1086	▽第44回定期組合大会決定ふまえ土井組合長「賃金や政策の見直し迫る」▽海の昔ばなし「濡標と高灯籠」▽新日本丸船首像のノミ入れ式「来年7月には完成へ」▽全国組合委大会で活動方針決める「近代化と雇用対策に地道な論	 086 1983(S58)12
▶ 海上の友 1087	▽「“日本海運丸”のこの一年」海運大きく変容へ 近代化は歴史に第一歩▽海の昔ばなし「帆船のクリスマス・プレゼント」▽女性ドクター航海記『ペルシャ湾の風に吹かれて』を出版▽「“船で家族の顔を”」潮会・VTR保有状況を調査▽	 087 1983(S58)12
▶ 海上の友 1026	▽“日本海運丸”きびしい船出「船と学校と船員の町からのレポート」▽「今年も頑張ります」船員・家族の抱負紙上録音▽「今年私がやりたいこと」海務担当役員アンケート▽官労使に年頭の抱負をきく▽新春船員夫婦座談会「今年もニ	 026 1982(S57)01
▶ 海上の友 1027	▽日本丸代船建造の意義を各界にきく「帆船教育こそ必要」▽「高等商船学校出身者の戦歴・海軍士官編」刊行▽わが国最大の純外航客船「新さくら丸」が就航▽舷灯「船を身近に引きよせる」▽海員組合の昭和57年度協約改定要	 027 1982(S57)01
▶ 海上の友 1028	▽「船員制度近代化実験“本番”へ」谷川久・船員制度近代化委員会委員長にきく▽「5年間、大型船の事故ゼロ」成果上がる東京湾海上交通センター▽国際親善に船員が橋渡し「海外の児童画を運ぶ」▽舷灯「飛行船のデビュー」▽船	 028 1982(S57)02

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1029	▽「へっぐ」騒ぎの二週間「望まれた船と乗組員の安全優先の報道姿勢」問題点を専門家にきく▽横浜へ客船豪華客船が続々▽日通総研「国内貨物輸送量を予測▽舷灯「船とのスキン・シップ」▽STCW条約の批准で、海技免状はどう	 029 1982(S57)02
▶ 海上の友 1030	▽「船員家庭の暮らし向き」海員組合の生活実態調査から▽消える南方定点観測▽舷灯「船員保護の実効性」▽「外、内航協約改定交渉スタート」全日本海員組合▽ほのぼのファミリー「駄目おかあさん」▽私の体験・意見特集「こ	 030 1982(S57)02
▶ 海上の友 1031	▽船員二法いよいよ改正「STCW批准」「船員制度近代化関係」▽「尾道丸海難の原因究明をめぐって」朝日新聞「論壇」論争の当事者に改めてその論拠をきく▽海運労使交渉はじまる「外航」「近海」「内航」▽ほのぼのファミリー「お母さ	 031 1982(S57)03
▶ 海上の友 1032	▽災害防止のため船舶所有者、国、船員の責務を明確化▽近づくLNG船時代「第一船 尾州丸」「第二船 播州丸」相次ぎ進水▽海上安全船員教育審議会「帆船2隻、汽船4隻で」▽舷灯「発言が少ない委員」▽全船協研究会「船員	 032 1982(S57)03
▶ 海上の友 1033	▽「女性船員はかか非か」採用する船社側は慎重な構え▽「氷川丸のメニュー復刻」最後の航海の水谷船長に思い出を聞く▽巨大石像の“モアイ” イースター島から日本へ▽舷灯「練習船日本丸で天国へ」▽海員組合が大型船の安	 033 1982(S57)03
▶ 海上の友 1034	▽「いまに生きる海運創成期のパイオニア精神」わが国初の甲種船長・田坂初太郎の波乱の一生▽21世紀へ新しい港づくり「横浜港」「東京港」▽「事故の八割が漁船」海難審判庁・機関損傷の実態を調査▽舷灯「災害の背景」▽海員	 034 1982(S57)04
▶ 海上の友 1035	▽「気象専門家が“野島崎沖の異常波浪”を警告」日本船長協会の船長実務講座から▽短歌でつづる妻の航路「月と舵輪」野々山三枝さんが出版▽船員制度近代化実験、B段階へ▽舷灯「船員と自然」▽外航交渉、いよいよ本格化	 035 1982(S57)04
▶ 海上の友 1036	▽「日本丸、新しい出発」係留帆船としてその使命は永遠に▽「家族会」にも時代の波▽船員関係法、成立へ▽舷灯「米国の海運政策」▽新時代を迎えた海事衛星通信▽あなたへのおたより帳「わが青春」▽山口の「少年の船」日本一	 036 1982(S57)04
▶ 海上の友 1037	▽近代化船の住環境「船内インテリアにも配慮」▽ちよっぴり上向き「海員学校の入学者」▽「60歳すぎても働きたい船員が33%」運輸省・中高年船員の雇用調査▽舷灯「日本の船員」▽外・内航交渉が妥結▽あなたへのおたより帳「午	 037 1982(S57)05
▶ 海上の友 1038	▽新制度として実施へ「走り出す近代化船」▽海と船と人と「うたわぬ詩人」▽天皇、皇后両陛下 初めて戦没船員の碑へ▽「海運・船員界にも“生の美学”を」小学校教頭・井上行夫氏が論文で強調▽舷灯「精神衛生について」▽「英語・	 038 1982(S57)05

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1039	▽総合実験船・日豪丸乗組員インタビュー▽海と船と人と「永遠の息吹き」▽記録映画監督の斉藤実さん「漂流実験に賭ける17年の執念」▽第二回殉職船員追悼式▽「中高年者対象に巡回検診」船員保険健康管理センター▽舷灯	 039 1982(S57)061
▶ 海上の友 1040	▽「海運不況どこまで」大阪商船三井船舶・野村秀治調査部長にきく▽海と船と人と「生命と自然」▽世界初のボイス・コントロール船 第一中央汽船の「紀ノ川丸」が就航▽神戸商船大が開学30周年▽舷灯「海に賭ける夢」▽訪船ルポ	 040 1982(S57)061
▶ 海上の友 1041	▽「近代化や帆船建造」運輸省・鈴木船員局長 大仕事成し遂げ退官▽海と船と人と「運送が文明」▽日本産業映画賞を受賞 企業紹介部門「コンテナサービス」・教育訓練部門「遭難時生きぬくために」▽フランスの「ル・サロン」展 連	 041 1982(S57)061
▶ 海上の友 1042	▽「シーレーン防衛論議」警戒感強める船員たち▽海と船と人と「船の起源」▽「船首像は私たちの手で」新日本丸と海王丸へ寄贈運動スタート▽「イルカの生態調査」船員の協力に水産庁が感謝▽舷灯「船員立法の体系」▽船員奨	 042 1982(S57)071
▶ 海上の友 1043	▽「海の記念日アンケート」商船大生が各界エリートに面接質問▽いろいろな記念日▽回想・月と舵輪「冬の海峡」▽「艦装すすむLNG船」三菱長崎建造現場ルポ▽海と船と人と「文明の諸悪の根源」▽山の中の子がみた「帆船日本丸」	 043 1982(S57)071
▶ 海上の友 1044	▽「海国としての条件」海の記念日の機会に識者にきく▽海と船と人と「竹と舟」▽永年勤続船員に晴れの運輸大臣表彰▽舷灯「船員社会とりまく諸問題」▽運輸大臣表彰受賞者▽回想・月と舵輪「星なる吾子の吹ける夜の笛」▽「さ	 044 1982(S57)081
▶ 海上の友 1045	▽これでよいか太平洋戦争の記述「“商船も戦った”の」にもう一つの教科書問題▽海と船と人と「パドルとオール」▽「減り続ける外航船員」運輸省の船員需給総合調査▽日本の捕鯨、危機に▽舷灯「ノルウェーの新しい船員像」▽「マ	 045 1982(S57)081
▶ 海上の友 1046	▽「『海運』を洋上で学ぶ」新さくら丸で海事ゼミナール「全国から中高校教師177人が参加▽海と船と人と「ろと權」▽運輸省船員局「マンニング・ブローカーは適法か？」雇用実態を調査▽実用化進む帆走商船「さらに二隻建造へ」▽舷	 046 1982(S57)091
▶ 海上の友 1047	▽運輸技術審議会船舶部会が「今後の造船技術開発の推進」方策を答申「“高信頼度知能化船”の開発へ」▽海と船と人と「帆のはたらき」▽「海への思い断ち難く」船乗りから作詞家へ…星野哲郎さんの30年▽中核6社、今秋の新規	 047 1982(S57)091
▶ 海上の友 1048	▽中核六社 採用予定は110人「大学生の“海運人気”今秋の就職戦線をみる」▽海と船と人と「帆のさまざま」▽省エネ・自動化船「新豊丸」が就航「燃費は35次船の半分」▽日本郵船元社長・有吉義弥さん逝く▽舷灯「海事広報はわが	 048 1982(S57)091

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1049	▽「これでよいのか原子力船研究開発 「むつ」よ、早く走れ」あと4年も大湊港で“軟禁状態”続く▽海と船と人と「横帆船と縦帆」▽元通信長の中村勝利さんが「おじさんのゼロハン紀行—ヨーロッパ一万六千六百キロ」を出版▽白寿	 049 1982(S57)10
▶ 海上の友 1050	▽「罷り通る“虚構の港”」映画やテレビ攻勢に手を焼く横浜港「反社会的ドラマの撮影はお断り」▽海と船と人と「未来の帆」▽「高校生の就職人気 船員志望はいぜん低迷」日本リクルートセンター調べ▽波に強い浮体式灯標「マフコ・	 050 1982(S57)10
▶ 海上の友 1051	▽「急テンポで進む技術革新を背景に 職業充実化とは何か」陸上の職業問題専門家にきく▽海と船と人と「舵」▽アフリカに訓練船を供与「17か国共同でアビジャンに来春、海事大学開校へ」▽来日した海上医学の権威H・ゲーテ氏が	 051 1982(S57)10
▶ 海上の友 1052	▽「海運不況 いかにより切るか」近藤鎮雄日本船主協会会長にきく▽海と船と人と「錨の起源」▽「中日優勝の陰に」小松投手の父、正福汽船操機手の辰三さん▽第34回灯台記念日「まだ足りぬ航路標識」▽舷灯「内航の船員問題」▽	 052 1982(S57)11
▶ 海上の友 1053	▽第29回交通文化賞七氏が受賞「洋画家では初めて石川滋彦さん、父、兄に次いで三人目住田正二さん」▽海と船と人と「錨のシンボル」▽外航船員医療事業団8か国の医師招いて研修会「進む海外特約医制度」▽商船大・商船高専	 053 1982(S57)11
▶ 海上の友 1054	▽海員組合 近代化の実践活動方針決める「日本船の拡大めざす」その基本理念を土井組合長にきく▽海と船と人と「シーマンシップ」▽日本海技協会が運輸省に要望書「改正法施行を控え、船員政策の充実強化を」▽「第28あけぼ	 054 1982(S57)12
▶ 海上の友 1055	▽深刻な海運不況化、外労協が発足20周年「労使調和して近代化進めたい」と村地さん▽海と船と人と「赤道祭」▽東海汽船の「すれちあ丸」にご乗船「両陛下、船旅はいかがでしたか」▽「船なくて生きられぬ」海事よく識る長谷川さ	 055 1982(S57)12
▶ 海上の友 1056	▽日本海運 波乱のこの一年「世界不況で業績悪化・日本船の維持にもかげり」▽海と船と人と「時鐘」▽元山下新通信長・佐賀井喜彦さんが持ち帰る「ガタルカナル島に散った戦没船員の遺骨 故国へ」▽大阪商船三井船舶の海難救	 056 1982(S57)12
▶ 海上の友 995	▽PHOTO&POEM「写真・濱四郎」「詩・星野哲郎“朝”」▽年頭の抱負をきく「運輸省船員局長・鈴木登」「日本船主協会会長・小野晋」「全日本海員組合組合長・土井一清」▽「'81日本海運の展望と課題」日本郵船調査室長・豊島庸輔▽	 995 1981(S56)01
▶ 海上の友 996	▽「37次 船の利子補給をいかに受け止めるべきか」労使トップにきく▽外国船の海難相次ぐ▽「郵船機関親交会三十五年の歩み」を発行▽舷灯「船員の夫婦を考える」▽海員組合の昭和56年度協約改定要求案▽「海に出て思う」練	 996 1981(S56)01

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 997	▽二船団の代表者研修会で論議、対応策急ぐ「予想される内航労働力の不足」▽海員学校卒業生の就職好転▽台風「国際共通番号」▽舷灯「船員社会をめぐる今年の課題」▽第6回海上美術展▽「海に出て思う」練習船青雲丸・環太	 1997 1981(S56)021
▶ 海上の友 998	▽船員制度近代化の共通課題を背景に「外航交渉がスタート」▽「豪雪にもめげず」猛威とたたかった留守宅の表情▽事故船の損害賠償「責任額がアップされます」▽舷灯「知らされない外国船の海難」▽「LNG船対策も課題に」海	 1998 1981(S56)021
▶ 海上の友 999	▽「その沈着さと勇気と」尾道丸全員を救助しただんぴあ丸▽「なぜ、今、船なのか」一年たった船協の広報活動▽浮上する海の大動脈「アジア・ポート」構想▽舷灯「定期船苦難の時代」▽日本船主協会が「激浪を行く日本海運」を発	 1999 1981(S56)021
▶ 海上の友 1000	▽各界有識者にきく「いま国民世論は…」▽海上労働科学で交通文化賞うけた西部徹一さん「船員制度近代化に貴重なデータ提供」▽全日本船舶職員協会の研究会「STCW条約と国内法改正問題」第二次試案を説明▽舷灯「船員の	 000 1981(S56)031
▶ 海上の友 1001	▽“国民行事”として追悼式を実施「日本殉職船員顕彰会」が発足へ▽海員組合の武内賢一さんが「缶前からの叫び」戦後混乱期における船内の記録を出版▽プロペラに新装置▽舷灯「船員とコンテナ」▽内航、近海部門の労働協約	 001 1981(S56)031
▶ 海上の友 1002	▽館山海員学校で高い合格率「中卒、十七歳で甲二航筆記試験に合格」▽「夢はでかいぞ、われは“船キチ”」都市問題研究家・藤田邦昭さん▽海難救助にヘリが大活躍「救助百人をこす」▽舷灯「船員の老後のために」▽「フィリピン	 002 1981(S56)031
▶ 海上の友 1003	▽「錨のある一流ホテル」横浜海員会館がオープン▽ポートピア'81“海の文化都市の創造”って何？」▽「37次鉦炭船に採用へ」鉄屋さん、省エネ船に挑む▽舷灯「完全なる洋上救助」▽全国海上交通安全運動がスタート▽本紙歌	 003 1981(S56)041
▶ 海上の友 1004	▽「船内供食も近代化」現行協約では高カロリー一過ぎる▽「海への愛ただひと筋に」丸山薫の詩碑建立に寄せて▽「もっと現場の声を」船員災害防止協会で安全衛生懸賞募集▽舷灯「落日の英国商船旗」▽「石油危機と海運労使の	 004 1981(S56)041
▶ 海上の友 1005	▽公害防止専門家・田尻宗昭氏の「油濁の海」に関して現場をレポート▽大阪港に広報船「水都」就航▽船員の歴史を後世に「海員史話会」▽舷灯「船旅の魅力」▽「米原潜の日昇丸あて逃げ」海上保安庁が調査内容を発表▽「海に出	 005 1981(S56)041
▶ 海上の友 1006	▽激動の「日本海運とともに」元日本郵船社長・有吉義弥さんが回想録を発表▽「気をつけよう海洋汚染」多いバンカー・ミス▽加山雄三が歌う「海の歌」入選作決まる▽舷灯「帆船を考える」▽労使交渉、外内航ともに妥結▽「この海	 006 1981(S56)051

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1007	▽日本旅客船協会創立30周年の機会に訴える「離島航路の現状と問題点を見る」▽実績挙げる「提案制度」▽三光汽船の「マリセーブ」超音波使い改質▽舷灯「ほど遠い太平洋航路の安定回復」▽STCW条約の国内法制化審議す	 007 1981(S56)05:
▶ 海上の友 1008	▽船内情報も“光伝送”で「ジャパン・ストーク」で実験スタート▽「だんぴあ丸」埋もれていた救助美談▽本四連絡橋立法措置「海への再就職確保を」塩田代議士が国会で質問▽舷灯「船員の意識は変わりつつある」▽船体と機関に分け	 008 1981(S56)06:
▶ 海上の友 1009	▽「カルカッタ日本船員ハウス“名物所長”悲喜こもごもの13年間」山内さん夫妻が長い勤務を終え帰国▽昭洋会の新人職員アンケート「プロ船員を自覚しました」▽物流の変化に対応を「堀ノ内一雄・運輸政策審議会専門委員」内航	 009 1981(S56)06:
▶ 海上の友 1010	▽日本造船史に輝く一ページを残して「さようなら東京丸」▽「美術に魅せられた海の男たち」鷗童会が七月に展覧会▽「魅力ある船内環境を」船員局が海技協に調査委託▽「海の記念日前夜祭」船員家族を招き盛大に▽舷灯「技能	 010 1981(S56)06:
▶ 海上の友 1011	▽「マリサットで医療助言」横浜船員保険病院がサービス開始▽矢嶋三策さんが「船長一世界一周初航海の記録」を出版▽「第41回海の記念日」船員表彰や多彩な催し▽舷灯「穀物と海運市況」▽どうなる船員保険年金▽妻の航路「留	 011 1981(S56)07:
▶ 海上の友 1012	▽海の記念日のシンボル「明治丸はいま…」▽「洋上で働く船員とその家族の皆さんへ」第41回海の記念日を迎えて各界ご挨拶▽妻の航路「面会の日を待つ」▽知られざる海語事典「幸田露伴の水上語彙」▽W/O教育講習の現場をみ	 012 1981(S56)07:
▶ 海上の友 1013	▽永年勤続船員は130名「海ひと筋の人生」この日の“主人公”たちにきく▽船員家族も参加して「盛大に海の記念日前夜祭」▽海運白書「労使の自助努力を期待」▽舷灯「海の記念日前夜祭に思う」▽運輸大臣表彰受賞者▽妻の航路「初	 013 1981(S56)08:
▶ 海上の友 1014	▽海運造船合理化審議会の海運対策部会が中間報告を了承「日本船の必要性和その整備方策を示す」▽船員OB会の現状をみる「親睦や社会奉仕、年金の不安訴える声も」▽社団法人外航船員医療事業団「外航全船員を対象に	 014 1981(S56)08:
▶ 海上の友 1015	▽「若者の海離れ傾向をどう受け止めるべきか」高卒就職希望職種調査結果を受けて、各界有識者に意見を求めた▽“漁業の町の手離れなくそう”と女子高校生グループが原因究明調査▽海上保安白書「目立つ遠距離海難 海洋汚	 015 1981(S56)09:
▶ 海上の友 1016	▽“横浜ドック”の90年「その波乱の歩みをふり返る」▽矢嶋三策さんの“人生航海記”「船長」に感動の声ぞくぞく▽舷灯「何でも相談電話」▽運輸省の昭和57年度概算要求「代替エネ船に利子補給」▽船の科学館友の会「東京湾で洋上	 016 1981(S56)09:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 1017	▽酒はほどほどに」単調な航海生活、飲みすぎにご用心▽海上保安に新システム導入へ▽船舶電話も硬貨式に▽舷灯「総理大臣表彰」▽妻の航路「満六歳のオチビ」▽船舶調理の大先輩が推奨する「船内で喜ばれる西洋料理10品」	 017 1981(S56)09:
▶ 海上の友 1018	▽安全運航のための調査報告「キャプテンは答える」船長協会が発表▽「これが港のシンボルマーク」ようやく日本でも制定▽船員保険会の健康管理センター「検診車の積極利用を」▽舷灯「コンテナ船の競争」▽千葉港「貨物取扱量	 018 1981(S56)10:
▶ 海上の友 1019	▽消えゆく開港の名残り「横浜・山手病院の歩んだ一世紀」▽「いぜん脱出の見込みなし」イ・イ戦争から一年 シャト・アル・アラブ川付近の日本船5隻▽舷灯「内航船員に対する給食の改善」▽「夢のスターリング・エンジン」船用機器へ	 019 1981(S56)10:
▶ 海上の友 1020	▽「あすへ向けスタンバイ」大きな節目迎えた船員制度近代化▽「海賊横行にご用心」シンガポール海峡やナイジェリア▽内航に韓国船員が就労「悪らつな行為」と組合が抗議▽舷灯「船員と軍事」▽「若年層が多いフィリピン船員」海上	 020 1981(S56)10:
▶ 海上の友 1021	▽「先輩、どうぞよろしく」海運界に巣立つ商船大学、高専生▽内航タンカーの環境改善問題を丸善石油の担当者にきく▽横浜海員会館「利用率70%を超える」▽舷灯「自己にきびしい船長」▽「タンカー爆発防止対策」運輸省が検討事	 021 1981(S56)11:
▶ 海上の友 1022	▽二航機もW/O実験へ「現場は理解と協力を」と谷川久委員長▽衰退続くイギリス海運「船員の失業者今年末には五千人に」▽鳥羽商船高専創基百周年「盛大に記念式典」▽舷灯「船員の掘り出し」▽旧函館商船学校のシンボル「日	 022 1981(S56)11:
▶ 海上の友 1023	▽「57年度利補、国会で論議」海上の現場も今後の審議動向を注視▽「船員保険保養所四十年のあゆみ」▽海技大 同窓会第10回総会「同窓の尾崎哲夫船長を表彰」▽舷灯「不況にあえぐ欧州」▽シンガポールのおやじさん・磯	 023 1981(S56)12:
▶ 海上の友 1024	▽「海員組合大会、こんごの船員制度近代化対策を決める」土井組合長インタビューの要旨▽海に生きる人々描いた統一劇場の「出航」船員の協力で完成▽尾道丸の事故異常なスラミングで1万2千トンの衝撃力▽舷灯「高齢船員	 024 1981(S56)12:
▶ 海上の友 1025	▽海技協総合支援特別委が調査・研究成果を発表「船舶運航全体をシステムとしてとらえる」▽「曇り空に曙光を求めて」この一年をふり返る▽「苦渋と栄光の半世紀」全船協の「五十年史－明治・大正・昭和」船員と商船教育変	 025 1981(S56)12:
▶ 海上の友 964	▽「不透明の時代」の幕開け」海運代表に年頭の決意をきく「運輸省船員局長・山元伊佐久」「日本船主協会会長・小野晋」「全日本海員組合組合長・村上行示」▽80年代の課題と展望を日本海汽船専務取締役・蒲章氏にきく▽「新年	 964 1980(S55)01:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 965	▽「暗雲たちこめる海運市況」激動の80年の見通しを豊島庸輔・日本郵船調査室長にきく▽南極観測の松本満次「宗谷」初代船長逝く▽「減らぬ海難件数」海難審判庁が「海難審判の現況」を発表▽日本船舶機関士協会が諸手当で独	 1965 1980(S55)01:
▶ 海上の友 966	▽「海に背を向ける社会環境の中で入学志願者が激減」転換迫られる海員学校▽「有難う、シドニー港の牧師さん」日本人のために尽くしてくれたコリン・クレーブンス牧師らに大平首相が感謝状▽厚生省が船員保険年金改正の準	 1966 1980(S55)02:
▶ 海上の友 967	▽“海運春闘”幕開け「厳しい国民世論を背景に外航交渉が本格スタート」▽練習帆船日本丸・海王丸「その風雪50年の航跡」記念帆走や50年史刊行▽「外航諸手当」その妥結内容▽「のんびりゆこうよ」客船船長回想録「モンテビデ	 1967 1980(S55)05:
▶ 海上の友 968	▽「海員組合、臨時大会で新体制固め」組織の最高責任とり退陣する村上組合長と一問一答▽「英国の作家と老船長の友情」90歳のキャプテン森とヴァン・デル・ポスト氏▽内航、近海船主に協約改定方針をきく▽運輸省船舶局「石炭	 1968 1980(S55)02:
▶ 海上の友 969	▽「かろうじて定員確保」商船大、商船高専、海員学校の入学志願状況を見る▽「日本人は海の原点見直せ」海出身の塩田晋代議士▽マラッカ規制実施されれば、日本船83隻に影響▽「わが国初のLNG船 158年には第一船が就航	 1969 1980(S55)03:
▶ 海上の友 970	▽「新体制で協約改定交渉へ」新組合長に選ばれた土井一清さんと一問一答▽下関ー上海「日中旅客航路開設へ」▽不定期船市況上向く▽新常任役員を決めた海員組合臨時大会▽「のんびりゆこうよ」客船船長回想録「本船引退後	 1970 1980(S55)03:
▶ 海上の友 971	▽外航交渉苦難のスタート「血のにじむ合理化努力」いかに示すか▽東京港とNY港が姉妹港に▽「ロンドンのジャパン・スタイル展」柳夫妻が大漁はんてん“万祝”を出展▽第一回外航交渉労使代表の挨拶要旨▽「のんびりゆこうよ」	 1971 1980(S55)03:
▶ 海上の友 972	▽「船員制度近代化が急務」海造審が外航海運の長期ビジョン示す▽帆船実習をはじめて劇映画化「練習船日本丸 1980」遠航撮影終え、5月には完成へ▽内航交渉「焦点は“退職金”と“賃上げ”」▽「のんびりゆこうよ」客船船長回想	 1972 1980(S55)04:
▶ 海上の友 973	▽外航中小船主が危機打開の願いを込めて発表「オーナー白書」の大きな意義▽「帆船実習を学生たちはいかに受けとめているか」日本丸船長の意識調査から▽10回目迎える戦没船員追悼式▽「肥満船員がふえている」国土館	 1973 1980(S55)04:
▶ 海上の友 974	▽世界の運航専門家が討論「石油・化学製品や使用済核燃料など増大する危険物輸送の技術情報を交換」▽「外国船員に冷たい千葉港」港をよくする会の意識調査から▽東京商船大の入学式「初の女子学生5名も」▽「海運広報の	 1974 1980(S55)04:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 975	▽「シーランド社同盟脱退の深刻な波紋」問われる同盟の存在意義を日本郵船調査室長・豊島庸輔氏にきく▽「混乗に積極的意義を 教育の重要性見失なうな」全船協創立50周年の応募論文から▽「ピストン輸送の自動車専用船」さら	 1975 1980(S55)05(
▶ 海上の友 976	▽官公労使が意欲こめて描く「これが仮設的船員像」「船内組織の骨格図」「職務構成概要図 I 型・II 型」▽労使交渉平和裡にすべて自主解決▽「のんびりゆこうよ」客船船長回想録「ホノルル最後のさびしき船出」▽「あるべき船舶	 1976 1980(S55)05(
▶ 海上の友 977	▽日本船員の実力発揮の場「動きだすLNG船」▽「“海霊”よ安らかに」厳かに第10回戦没船員追悼式▽「転倒や墜落防止に力点」55年度の船員災害防止計画▽海技協・対策委が船員制度近代化で船員局長に意見具申▽「のんびり	 1977 1980(S55)06(
▶ 海上の友 978	▽「職員間、職部員間、部員間の連携をめざして」六月からいよいよ教育訓練船がスタート▽「ああ“海防艦”」生残りが「海防艦顕彰碑」つくる▽船協が海運広報に本腰「一般国民や指導層に力点」▽船員制度近代化委の教育訓練細目	 1978 1980(S55)06(
▶ 海上の友 979	▽日本海員掖済会創立100周年に寄せて「海運黎明期の船員事情」河毛一郎会長にきく▽「“你好視察団”日本を学ぶ」船員教育制度に感銘▽近代化委・実船実験乗組員の声「運航に支障なし」▽「大幅な増収増益」海運各社の三月	 1979 1980(S55)06(
▶ 海上の友 980	▽「海洋冒険ものブーム」英国の帆船時代の主人公に日本人はなぜ魅かれるのか▽川崎景章著「折戸日記—高等商船学校生徒の記録」が話題を集める▽内航コンテナ船の就航で転機に立つ長距離フェリー▽船員職業安定年報に	 1980 1980(S55)07(
▶ 海上の友 981	▽「洋上の皆さん、有難う」海の記念日にあたり各界からメッセージ▽アンケート「わたしの“海の記念日”」▽「海の記念日を迎えて」運輸省船員局長・鈴木登 全日本海員組合組合長・土井一清 日本船主協会会長・小野晋 日本海	 1981 1980(S55)07(
▶ 海上の友 982	▽「船員への愛情もって」村地成治・外労協新会長にきく▽「船も人も変わりました」半生ふり返る大臣表彰船員たち▽「商船隊整備方針を示す」海運白書▽第40回海の記念日「運輸大臣表彰受賞者」▽「おやじはつらいよ」ベテラン司厨	 1982 1980(S55)08(
▶ 海上の友 983	▽普及するウェザー・ルーティング「船長の航路判断のよき助言者に」その効用をオーシャン・ルーツ社にきく▽「災害防止は船内の融和から」無災害船の安全責任者にきく▽「生活意識は中流」海員組合の漁船員家族の生活動向調	 1983 1980(S55)08(
▶ 海上の友 984	▽「海上の文芸活動はなぜ低調になったか」海運復興期、花ざかりだった船内誌も姿消す▽戦時下の商船生描く「青春の砦」を全国で上演▽広島で「大海洋展」▽海技講習、技能講習、九月からスタート▽「おやじはつらいよ」ベテラン	 1984 1980(S55)09(

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 985	▽「日本丸が帆走公開」随伴船・北斗丸船上で“紙上録音” ▽軌道に乗る“日中混乗”▽「雇用対策と再教育に重点」運輸省の昭和56年度概算要求▽船会社における親睦会の存在意義▽「おやじはつらいよ」ベテラン司厨長奮戦記「異	 1985 1980(S55)09
▶ 海上の友 986	▽「白球に秘められた裏面史」大正12年ごろ郵船の欧州航路の乗組員が…▽創立60周年迎えた海洋会▽「漁船海難遺児を励まし」創立10周年迎えた育英会▽海上保安白書の問題点を野呂降警備救難監にきく▽「おやじはつらいよ」	 1986 1980(S55)09:
▶ 海上の友 987	▽「オカで頑張っています」七名の出向者に近況をきく▽「船内融和にも一役」VTRの利用状況を見る▽最近の船内レク活動▽ことし後半の海運市況見通し▽「おやじはつらいよ」ベテラン司厨長奮戦記「赤道祭の巻」▽「みんなで作る	 1987 1980(S55)10
▶ 海上の友 988	▽「組合長に就任八カ月」あすのために近代化する」全日本海員組合・土井一清組合長、活動方針を明解に語る▽イラン・イラク戦争「日本商船8隻、被害なし」▽「これが未来派商船」帆装商船「新愛徳丸」を公開▽「第17回全国中学	 1988 1980(S55)10
▶ 海上の友 989	▽「これがホルムズ関門海峡だ」この“中東原油ルート”のさまざまな顔▽「海陸ともに昨年上回る」商船大、商船高専の求人・求職状況▽“海離れ”内航を直撃「若年船員の不足に苦しむ内航船主」▽近代的な実習機器を装備	 1989 1980(S55)10:
▶ 海上の友 990	▽近代化へスタンバイ「全寮制でみっちり“両用教育”」日本郵船の洋光台研修センター▽「21カ国から300人が出席」第6回海上危険物輸送国際シンポジウム▽「海の詩人を偲んで…」丸山薫さんの七回忌▽「船員制度近代化に関する	 1990 1980(S55)11
▶ 海上の友 991	▽「商船高専へ進みたい」中学生の悩みに先輩たちが答える▽「ドキュメント海難－128人を救った男達」海上保安官らが救助手記を発表▽「海務・工務・保船部が東京に」川崎汽船▽「“ナヒーモフ”の引揚げ品」船の科学館で展示▽日	 1991 1980(S55)11:
▶ 海上の友 992	▽「海上労働運動史上に一ページ画す」海員組合第41回定期全国大会▽船内飲料水消毒に注意を「肝臓障害のおそれ」日本公衆衛生学会で報告▽「あの鹿島港に展望塔」砂丘に生まれた人工港のシンボル▽舷灯「船員に生涯生	 1992 1980(S55)12
▶ 海上の友 993	▽「海よお前がー帆船日本丸の青春」一般公開へ▽全国灯台のエピソード集「燈台風土記」▽「われわれは努力家集団」海大同窓会が総会を開く▽舷灯「海員会館のルーツ」▽「氷海商船の実用化実験進む」運輸省船舶技術研究	 1993 1980(S55)12
▶ 海上の友 994	▽「計画造船に対する利子補給の必要性」日本船主協会・山元伊佐久専務理事にきく▽激動のこの一年「労使関係が安定」▽健気に生きる“漁船遺児”たちを描く 映画「あしたの海」・文集「母さんの光る汗」▽舷灯「レーガン新政権と	 1994 1980(S55)12:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 933	▽「切り絵・中島弘二」「詩・北条敦子」▽まさに正念場の日本海運「79をとりまく厳しい環境を展望する」今年私がぜひやりたいこと 各界にアンケート▽年頭のご挨拶「運輸省船員局長・向井清」「日本船主協会会長・永井典彦」「日本	 1933 1979(S54)010
▶ 海上の友 934	▽「外国船への配乗あっせんがスタート」日本船員福利雇用促進センター▽「部員を職員登用へ」日本郵船や商船三井で実施▽三代目「大成丸」今年度中に起工▽「海洋汚染やや減る」海上保安庁▽舷灯「船員の職業病対策」▽「超	 1934 1979(S54)010
▶ 海上の友 935	▽「日本船員は合理化にどう対処すべきか」海上の現場の率直な声をきく▽海上労働科学研究所の神田博さん「振動と視力」の研究で医学博士号▽港のマスコット「あかいくつ号」就航▽神戸の船員保険総合福祉センターに相談室開	 1935 1979(S54)020
▶ 海上の友 936	▽「いまこそ日本海運の未来展望を」外航交渉を見守る現場の声をきく▽苦労多い手紙の転送業務「入港地変更でハラハラ」▽53年1～8月の要救助海難「貨物船の事故が減少」▽「研修兼ねて親睦会」全国海友婦人会東京支部▽舷	 1936 1979(S54)020
▶ 海上の友 937	▽「オカでも頑張りますよ」“第二の職場”に進んだ部員たちにきく▽「喜寿の宴に海をこえて祝電」ある老機関長の人生行路▽「望星丸二世」東海大で一般公開▽職場の安全・能率向上・経費節減に各社でアイデア競争▽舷灯「不確実性	 1937 1979(S54)020
▶ 海上の友 938	▽日本海運の存亡かけて外航交渉「労使の自助努力で危機回避へ」▽「内航なら売手市場」今春の海員学校の就職状況▽「実験船で走行試験」潜水タンカーの実用化研究▽「墜落災害を防ごう」船員災害防止協会で16ミリフィルム完	 1938 1979(S54)030
▶ 海上の友 939	▽「海運政策ひき出し日本船の維持図る」本格外航交渉を前に村上行示組合長と一問一答▽賃金二割カット申入れ「インドネシア航路で打撃」東京船舶・組合と個別交渉▽「全国に900戸を建設」創立10周年迎えた日本船員住宅協	 1939 1979(S54)030
▶ 海上の友 940	▽「海運の変革にどう取り組むか」四人の若手航海士、機関士にきく▽「外交客船再び登場」関西汽船・六月に「さんふらわあ7」就航▽「進む帆走商船の開発」内航への実用化めざし▽「海の代議士」小山亮さんを偲ぶ会▽「第二回	 1940 1979(S54)030
▶ 海上の友 941	▽「いよいよ実験船テストへ」大きく前進する船員制度近代化▽昭和海運「新システムの合理化を提案」▽開拓第二船をあっせん」日本船員福利雇用促進センター▽高速貨客船「おがさわら丸」就航▽舷灯「アジアとの交際」▽平行線の	 1941 1979(S54)040
▶ 海上の友 942	▽「海のロマンの息吹きをとり戻そう」“日本の海の歌”が大きな反響▽岐路に立つ船員保険▽第6回危険物輸送国際シンポジウム▽故人の業績たたえ「米田富士雄さんを偲ぶ会」▽舷灯船員の求人求職▽外、内航労使、いよいよ正	 1942 1979(S54)040

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 943	▽「青春を海に賭けたい」商船大新入生に志望の動機をきく▽「あの“新聞おじさん”逝く」元大阪商船火夫の川崎信助さん▽「女性航海士が誕生」西ドイツ・海上就職第一号に？▽「実験計画案を検討」第一回船員制度近代化委▽舷灯	 1943 1979(S54)04:
▶ 海上の友 944	▽「船舶職員の大同団結をめざす」創立50周年を迎えた全日本船舶職員協会▽「本紙投稿者が詩集を出版」兵庫県三木市の在間洋子さん▽「船艇と施設を整備」海上保安庁▽「いよいよ実船実験」船員制度近代化委員会▽舷灯「定	 1944 1979(S54)05:
▶ 海上の友 945	▽「外航交渉、平和裡に終結」沢内外航労協会長と村上組合長のあいさつ▽「竣工50周年を迎えた氷川丸」海上保安学校の志望者「卒業後は乗船勤務」▽横浜海員会館建替え▽舷灯「船員の発言」▽船員叙勲者にその半生を聞く	 1945 1979(S54)05:
▶ 海上の友 946	▽船主に外航交渉妥結の意義をきく「日本郵船常務取締役・三原荘衛氏」「大阪商船三井船舶常務取締役・矢嶋三策氏」▽「海運界で縦横に活躍する平井洋さん経営哲学を詠む」句集“あらせいとう”を出版▽盛大に「日本の海の歌」	 1946 1979(S54)06:
▶ 海上の友 947	▽「職域拡大に積極的な取り組み」中核六社▽「愛のバザー」船員にも協力呼びかけ▽「寒村から国際貿易港へ」開港120周年の横浜港▽「日本船員による日本船の建造促進」利子補給法一部改正の意義▽タンカーの甲板部の	 1947 1979(S54)06:
▶ 海上の友 948	▽「船員界の大長老として“最後のご奉仕”」浅井栄資さんが語る▽主婦に大人気「港町の教養講座」横浜▽「潮っ気たっぷりの新会長」日本パイロット協会の川島信会長▽「労使できめ細かく雇用対策」外航各系列雇用協議会▽職安	 1948 1979(S54)09:
▶ 海上の友 949	▽「“日本海運丸”の新船長」日本船主協会・小野晋会長にきく▽創立90周年迎える水難救済会▽「亡くなった中島健蔵さん」“船員モデル問題を論評、海洋文学にも関心寄せる▽「企業防衛に全力」外航中小労協の北川彰新会長▽	 1949 1979(S54)07:
▶ 海上の友 950	▽石油消費抑制時代「海運不況、本格回復遠のく」▽海の記念日を迎えて「運輸省船員局長・向井清」「日本船主協会会長・小野晋」「全日本海員組合組合長・村上行示」「日本海事広報協会会長・佐々木周一」▽PHOTO&POEM「浅	 1950 1979(S54)072:
▶ 海上の友 951	▽「ご苦労さま大臣表彰船員」喜びの表情に長期不況の影も▽「盛大に海の記念日前夜祭」各社親睦団体が主催▽「“二式大艇”が里帰り」船の科学館で一般公開▽「書道展で特別賞」海婦関東ブロック長の岡本和子さん▽第39回海	 1951 1979(S54)08:
▶ 海上の友 952	▽東京商船大、女人禁制百年の伝統にピリオド「来春には商船女子大生が誕生」▽「初の中国船員との混乗」飯野海運▽「海難原因の本質を摘示」海難審判庁▽「海運苦境を浮彫りにした臨手交渉」外労協加盟船社▽海運労使団体	 1952 1979(S54)08:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 953	▽「国際競争力回復のために二律背反を如何に克服すべきか」「船員費」に苦悩する沢内さん▽「頑張ってます“脱船員”」さまざまな転身コース…▽「洋上から息子を応援」中日・古松投手の父、正福汽船の操機手▽「外航労使、職域	 1953 1979(S54)09
▶ 海上の友 954	▽対談「海運広報を如何に展開すべきか」日本船主協会・岡庭博広報委員長と全日本海員組合・村上行示組合長▽「来秋には海上勤務へ」海上保安学校に女子が11人合格▽「第16回全国中学生海の図画コンクール」入賞者決る▽	 1954 1979(S54)09
▶ 海上の友 955	▽海運中核六社海務・船員部長座談会・上「海上乗組員と家族に望む」▽国際競争力強化のエース「超合理化船ぞくぞく就航」▽「ホテル並に新装」横浜海員会館、来年12月にオープン▽「少数定員、前向きにとり組め」現場の声を麻里	 1955 1979(S54)09
▶ 海上の友 956	▽海員組合大会を前に訴える「この沖の率直な声をきけ」▽「こんどは日本一周」巡航見本市船・新さくら丸▽「目立つ施設の不備」小型船の安全衛生指導▽「乗組員の意識変革が前提」船員制度の近代化・基礎実験船乗組員にきく	 1956 1979(S54)10
▶ 海上の友 957	▽ジャパンラインの小山田正船長が週刊読売のノンフィクション最優秀賞を受賞「動乱の原油航路—あるタンカー船長の悲哀」▽「練習帆船日本丸の存在理由」航海訓練所の全面的な協力で撮影開始▽「美術の秋に海の個展」船員	 1957 1979(S54)10
▶ 海上の友 958	▽外航中小オーナー首脳座談会・上「外航中小オーナーが厳しい経営状態を明かし、現場船員と家族の理解と協力を訴える」▽商船大学・商船高専「就職戦線大詰め」いぜん多い陸上組▽「量的拡大から質的充実へ」全国船員厚生施	 1958 1979(S54)10
▶ 海上の友 959	▽すすむ近代化のなかで部員の率直な声をきく「甲機両用も時代の流れ、しかし雇用は守って欲しい」▽第31回灯台記念日「孤島の灯光を守りつづけて」ごくろうさま永年勤続灯台職員▽「ダイヤル直通の料金管理に一工夫」ジャパン	 1959 1979(S54)11
▶ 海上の友 960	▽「“海洋思想後進国”ニッポンを痛烈に批判」来日中のカナダ人作家ニコルさんにきく▽「ひろがるクルーズ客船の魅力」“これからの客船”を発表した日本旅客船協会代表理事・佐藤幹雄氏にきく▽「海運コードの統一化に貢献」運輸	 1960 1979(S54)11
▶ 海上の友 961	▽「海の職場をいかに守るか」雇用と定員論議一色の第39回海員組合定期大会▽「見よう天気図 守ろうルール」海難防止強調旬間▽「帆装商船、開発急ピッチ」日本船用機器開発協会▽'80新春カレンダー▽「のんびりゆこうよ」客	 1961 1979(S54)12
▶ 海上の友 962	▽「海員組合大会を外航船主はいかに受けとめたか」率直な感想をきく▽胸打つ不屈の冒険魂「極地探検家・アムンゼン展」船の科学館で開催▽「“第2次石炭時代”に備える海運界」来秋には専用船が竣工▽「海員学校の統廃合な	 1962 1979(S54)12

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 963	▽「わたしにとっての“この一年”」現場第一線の8人の職部にきく▽「絵のサンタクロースは船員さん」ドバイの小学生の作品を日本の小学生にプレゼント▽商船三井ビルが虎ノ門に完成▽「海から山への転進」第一中央汽船の中村	 1963 1979(S54)12:
▶ FAX短信 902	▽新しい海への出帆「北斗丸」▽労使代表年頭挨拶「日本船主協会・永井典彦会長」「全日本海員組合・村上行示組合長」▽「本紙の使命を痛感」日本海事広報協会・佐々木周一会長▽「試練の年'78」主要各社重役の決意▽「海運	 1902 1978(S53)01(
▶ 海上の友 903	▽「固定観念捨て不況脱出へ」試練の時代をくぐりぬけてきた先輩船員たちの直言に耳を傾けよう▽「“災害死傷”を3割減らす」船員災害防止第三次基本計画を答申▽「海運転換期の現状分析」52年度運輸経済報告▽舷灯「船員の情	 1903 1978(S53)01:
▶ 海上の友 904	▽「不況だからこそ真価を発揮」船員親睦会の重要度▽「いつまで続く“減速航海”」減速運航中の船内生活▽「衝突ゼロを記録」海上交通情報センター 1年の成果▽「宗谷」が波乱の40年の航跡に幕▽舷灯「貿易の自由と海運	 1904 1978(S53)02(
▶ 海上の友 905	▽「船主が労働条件の見直し要求」海運企業の浮沈かけ労使交渉▽船内食に新鮮な緑を「“かいわれ”はいかが」▽「廃油ボールの実態調査」海上保安庁▽「南太平洋へ」全国の若者三百人乗せ青年の船が出港▽舷灯「海員労組	 1905 1978(S53)02
▶ 海上の友 906	▽「内憂外患の日本海運」日本船主協会・宮本清四郎常務理事の話を中心に問題点を見る▽「春を運んで豪華客船」入出港のスケジュール▽海員学校卒業生の求人100%超える「殆んどが内航へ」▽関東の青年船員が交流求め“若	 1906 1978(S53)02:
▶ 海上の友 907	▽「深刻に労使交渉見守る乗組員」大手から中小非系列まで現場代表にきく▽「VTRを自主制作」日本郵船と昭和海運・昭洋会▽海上保安庁が乗組員を募集「巡視船艇増強で不足」▽「捕鯨船が再就職」乗組員も一緒に海上保安庁	 1907 1978(S53)03(
▶ 海上の友 908	▽外航交渉・労使トップにきく「外航労務協会交渉委員長・田尻昌克」「全日本海員組合組合長・村上行示」▽東京・丸の内の新名所「郵船ビル完成」▽「入学志願者大幅にダウン」商船大・高専の募集締切る▽舷灯「やる気」▽ローカル	 1908 1978(S53)03
▶ 海上の友 909	▽「ジャパンライン再建へ茨の道」海上従業員はどう受けとめているか▽「海図の改補が簡単に」日本水路協会の複写紙▽好評の「水ヘルパー」船内の自主検査用に最適▽舞鶴の海上保安学校「モダンな校舎誕生」▽舷灯「国際人」▽	 1909 1978(S53)06:
▶ 海上の友 910	▽「船員雇用促進センター」発足へ▽「第1回世界海の日」I MCOが制定 加盟国へメッセージ▽「昭和52年の“要救助海難”前年より296隻減少」海上保安庁▽舷灯「職業としての船員」▽船員保険料値上げ▽ローカル通信—横浜—「厳	 1910 1978(S53)04(

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 911	▽大井コンテナターミナル・ルポ「海運第一線基地をみる」 定航部門にも不況の影▽国際化時代に備え「英会話研修 が大流行」外航各社▽「油回収船の所要基準を報告」海上 災害防止センター▽「世界最大のデリック」重量物運搬船	 1911 1978(S53)04
▶ 海上の友 912	▽走り出す“海上新幹線”計画「国土を船のベルトで結ぶ」 内航海運へ託す第三次全国総合開発計画▽「帆船練習船 の代船建造」政治レベルで構想▽今春も“船員オリンピッ ク”「ノルウエー主催の国際船員スポーツ大会」横浜でなご	 1912 1978(S53)04
▶ 海上の友 913	▽「外航労使、海運再建に協力体制」交渉妥結に当り労使 代表にきく▽「円高で国際電話が安くなる？」▽「海難防止 はあなたの気持ちから」春の全国海難防止強調運動▽舷 灯「考えてみませんか」▽外航労使の主な協約改定事項▽	 1913 1978(S53)05
▶ 海上の友 914	▽「船員雇用安定に党派をこえて問題提起」和田春生参議 院議員にきく▽「利用者増える“人間ドック”」船員保険を利用 ▽高松宮ご夫妻が「戦没船員の碑」にご献花▽都内各 所で「第31回東京みなと祭り」東京都港灣局主催▽舷灯	 1914 1978(S53)05
▶ 海上の友 915	▽企業維持と雇用安定は共通の目標「船員福利雇用促進 センターいよいよ発足」村上行示海員組合組合長にきく▽ 「超自動化船モデル」議論つづく“明日の船”構想▽「船舶 料理士資格取得措置が変更」日本船舶職員養成協会▽	 1915 1978(S53)06
▶ 海上の友 916	▽「船員就職戦線を現地に見る」横浜船員職安の場合▽東京 商船大学「女性にも門戸を開放？」▽海運各社の献血会 「船員同士が病気やケガの相互扶助」▽商船三井ビルが 虎ノ門に移転▽舷灯「払拭したい沈滞ムード」▽海上保安	 1916 1978(S53)06
▶ 海上の友 917	▽「近海船危機は打開できるか」労使交渉はようやく妥結 ▽「洋上へだてて声のやりとり」船員のハム熱盛ん▽海上 保安庁「海のとて逃げ捜査」▽舷灯「帆船練習船の開放」 ▽日本船員住宅協会の「大阪マリンハイツ」▽「安全衛生	 1917 1978(S53)06
▶ 海上の友 918	▽「日本海運の危機打開策を示す」海運造船合理化審議 会▽「海の記念日に演奏会」元山下新日本汽船機関長の 長女・破魔澄子さん▽船長のリーダーシップ調査「極めて 高い自己評価」▽“28隻組”最後の民間船「藤丸」解体へ▽	 1918 1978(S53)07
▶ 海上の友 919	▽「さあ出港スタンバイ」海の記念日は洋上で▽心新たに共 に祝おう「第38回海の記念日」「海上の友創刊30周年」関係 各界からご挨拶▽座談会「こんな妻でありたい」▽「わたし も頑張っています」共働きの船員家庭訪問▽「海の記念日	 1919 1978(S53)07
▶ 海上の友 920	▽「半生を海ひと筋に」大臣表彰の老船員たちにきく▽「船 員家族の実態調査」海上労働科学研究所▽「世界初の宇 宙ショウ開幕」▽舷灯「船員は創造力に乏しいか」▽「海の 記念日を国民の祝日に！」海の記念日前夜祭▽第38回海	 1920 1978(S53)08

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 921	▽「船員労働安全衛生月間スタート」標語入賞者に安全対策をきく▽「船員と家族を結び二十年」横浜船員サービスセンター▽「消化器系がトップ」無線医療電報の取扱実績▽村上行示詩集「わが豊玉姫」出版記念会▽舷灯「仕組船買	 1921 1978(S53)08:
▶ 海上の友 922	▽「いよいよ海事衛星通信時代へ」海事衛星通信パネル討論会での研究報告より▽ガダルカナル島の生残り航海士が幕舎跡の地図作成「船友たちはここに眠っている」▽舷灯「労働憲章と雇用センター」▽「厳しさ増す雇用情勢」低	 1922 1978(S53)09:
▶ 海上の友 923	▽「研修中の雇用船員にきく」船員福利雇用促進センター▽「大モテの海の特殊救急隊」海上保安本部警備救難課▽昭和54年度船員関係予算まとまる▽第13次巡航見本市船▽舷灯「船員の表彰に想う」▽「個別交渉ほぼまとまる」	 1923 1978(S53)09:
▶ 海上の友 924	▽「曲がり角に立つ全国海友婦人会」第22回全国大会開く▽「動きだしたタンカー備蓄」急がれる補給港の選定▽「ヘリ搭載巡視船を増強」海上保安庁の概算要求▽船員のオアシスが移転「シンガポール日本船員センター」▽舷灯「け	 1924 1978(S53)09:
▶ 海上の友 925	▽「すすむ中核6社の超自動化船開発計画」コストダウンで国際競争力の回復ねらう▽「きびしい海上への道」東京商船大卒業生の訴えをきく▽舷灯「気軽にメモを」▽「外航船員の食事要求に関する調査」海上労働科学研究所▽「第	 1925 1978(S53)10:
▶ 海上の友 926	▽「海洋ギャラリー」もオープン「ますます盛んな船員の絵画熱」横浜船員サービスセンター▽「世界のパイロットが一堂に」第4回IMPAC総会・京都▽「雇用センターの就労あっせん」登録船員、1800人こえる▽「国際船員センターに図書	 1926 1978(S53)10:
▶ 海上の友 927	▽「雇用確保と生活防衛を柱に」全日本海員組合の活動方針▽「殉職船員の霊よ安かれ」石川県富来町で盛大な慰霊祭▽第22回船員労働安全衛生月間終る「行事参加者三割増す」▽「中古コンテナ買います」陸上輸送や倉庫用に	 1927 1978(S53)10:
▶ 海上の友 928	▽「陸でも通用する資格をとろう」高まる船員雇用の自衛策▽「浮ぶ工場 プラント船がブーム」何度内に6隻供与▽「IMCO・STW条約 問題点の討議へ」海技協会が特別委員会を設置▽「世界最大のホバークラフト進水」イギリス▽舷	 1928 1978(S53)11:
▶ 海上の友 929	▽「外航からの分離を宣言」内航労務協会が来春の協約改定交渉を前に「基調」を発表▽「索を使わずワンタッチ曳航」吸着式曳航システム実用化へ▽「第30回灯台記念日」海上保安庁、盛大な祝賀会▽「外国船指導も徹底」全国海	 1929 1978(S53)11:
▶ 海上の友 930	▽「雇用確保と生活防衛」を主軸とする活動方針を村上組合長にきく▽創立八十周年迎えた広島商船高専▽海上保安庁の職員試験「外、内航船員が殺到」▽東京商船大「55年度から女子にも門戸開放」▽舷灯「世界船主協会会長会	 1930 1978(S53)12:

海事資料電子データ

名称	備考	
▶ 海上の友 931	▽「瀬戸際に立つ外航中小船主」労働条件の抜本的見直し 検討▽海運造船の不況対策で意見交換「船主協会」「ス ウェーデン訪日調査団」▽「船員保険病院に特別医療車」 東京船員保険病院▽「海運同盟制度論」宮本清四郎氏に	 1931 1978(S53)12
▶ 海上の友 932	▽混乗船の船長・機関長が語る「国際化時代の日本船員」 ▽「老船長と英作家の心の交流」由良東大教授の名訳で 20年ぶり誤解とく▽「旅客船を重点に」海上保安庁が年末 年始特別警戒▽新鋭ヘリコプター搭載船「そうや」一般公	 1932 1978(S53)12